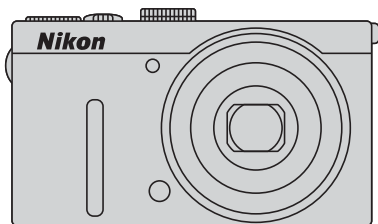
Nikon

デジタルカメラ

# COOLPIX P330

クールピクス P330

# 使用説明書

Jp

# COOLPIX P330おすすめ機能

## 手ブレ補正 ................................................................ 📖104

手ブレ補正の効果を［**NORMAL**］と［**ACTIVE**］から選べます。［**ACTIVE**］を選ぶと、比較的大きなブレが起こりやすい車上や足場の悪い状況などでも、手ブレを補正します。

## 🎥（動画）................................................................ 📖92

●（🎥 動画撮影）ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。
動画の色合いを、撮影モードやホワイトバランスの設定で変えられます。
スローモーション動画や早送り動画も撮影できます。

## GPS機能を搭載 ................................................................ 📖98

カメラ内蔵のGPSを使うと、撮影する画像に位置情報（緯度と経度）を記録できます。

## 別売ワイヤレスモバイルアダプターに対応

別売のワイヤレスモバイルアダプター WU-1aをUSB/オーディオビデオ出力端子に装着できます。専用ソフトウェアをインストールしたスマートデバイスとWi-Fi（無線LAN）接続できます。
詳しくは、カタログや当社ホームページ、WU-1aの使用説明書などをご覧ください。

# はじめに

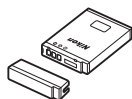
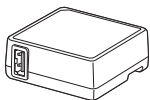
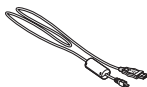
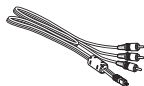
## はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX P330をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」（🕮vi～xi）をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

### 箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

COOLPIX P330 カメラ本体

ストラップ

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12（端子カバー付き）

本体充電 AC アダプター EH-69P

USB ケーブル UC-E6

オーディオビデオケーブル EG-CP16

ViewNX 2 CD

活用ガイド CD

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※メモリーカードは付属していません。

## 本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□12)をご覧ください。
カメラ各部の名称や主な役割については、「各部の名称と主な役割」(□1)をご覧ください。



### ●付属の「活用ガイドCD」について

「活用ガイド」をPDFファイルで収録しています。さらに詳しい説明を知りたいときにご覧ください。
Adobe Reader で閲覧できます。Adobe Readerは、Adobeのホームページからダウンロードできます。

「活用ガイドCD」の内容を見るには

1 パソコンを起動し、「活用ガイドCD」をCD-ROMドライブに入れる。
2 **Windowsの場合**：[**コンピューター**](Windows XP の場合は[**マイコンピュータ**])ウィンドウを開き、CD-ROM(COOLPIX P330)アイコンをダブルクリックする。
   **Mac OSの場合**：デスクトップのCD-ROM(COOLPIX P330)アイコンをダブルクリックする。
3 INDEX.pdfアイコンをダブルクリックし、[**活用ガイド**]をクリックする。

### ● 本書の記載について

- 本文中のマークについて

| マーク | 意味 |
|---|---|
| ☑ | カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。 |
| ✎ | カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。 |
| □/☼ | 関連情報が記載されているページです。☼は「付録、索引」のページです。 |

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニター画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。
- 本書では、モニター画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略する場合があります。
- 画面表示やカメラなどのイラストは、実際と異なる場合があります。

## ご確認ください



**●保証書について**

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

**●カスタマー登録のお願い**

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

**●大切な撮影を行う前には試し撮りを**

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

**●本製品を安心してご使用いただくために**

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

ホログラムシール

### ●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

### ●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

### ●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、［**GPS設定**］（🕮98）の［**位置情報記録機能**］を［**OFF**］にしてから、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］（🕮103）の［**撮影した画像**］も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

SDカードに保存したログデータの扱いは、SDカード内の他のデータと同じです。SDカードに未保存の取得済みデータは、［**ログ取得**］（🕮102）→［**ログ取得終了**］→［**ログ消去**］で消去できます。

### ●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# 安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。 |
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

| 絵表示の例 | |
|---|---|
|  | △記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。 |
|  | ⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
| ● | ●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

## ⚠警告（カメラについて）

| | | |
|---|---|---|
|  | 分解禁止 | **分解したり、修理や改造をしないこと**<br>感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。 |
|  | 接触禁止 | **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**<br>感電したり、破損部でケガをする原因となります。 |
|  | すぐに修理依頼を | 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。 |

| | | |
|---|---|---|
| 水かけ禁止 | | **水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**<br>発火したり感電の原因となります。 |
| 電池を取る<br>すぐに修理依頼を | | **熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと**<br>そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。<br>電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。<br>電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。 |
| 禁止 | | **通電中のカメラに長時間直接触れない**<br>使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。 |
| 使用禁止 | | **引火、爆発のおそれのある場所では使わない**<br>プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。 |
| 発光禁止 | | **車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと**<br>事故の原因となります。 |
| 発光禁止 | | **フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと**<br>視力障害の原因となります。<br>特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。 |
| 保管注意 | | **幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない**<br>幼児の飲み込みの原因となります。<br>飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。 |
| 保管注意 | | **ストラップが首に巻きつかないようにすること**<br>**特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと**<br>首に巻き付いて窒息の原因となります。 |
| 警告 | | **指定の電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を使うこと**<br>指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。 |
| 使用禁止 | | **充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと**<br>感電の原因となります。<br>雷が鳴り止むまで機器から離れてください。 |

## ⚠注意（カメラについて）

| | | |
|---|---|---|
| 感電注意 | **ぬれた手でさわらないこと**<br>感電の原因になることがあります。 |
| 保管注意 | **製品は、幼児の手の届く所に置かない**<br>ケガの原因になることがあります。 |
| 保管注意 | **使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること**<br>太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。 |
| 移動注意 | **三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと**<br>転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。 |
| 使用注意 | **航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする**<br>**また、搭乗前にGPSの位置情報記録機能もOFFにする**<br>**病院では、病院の指示に従う**<br>本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。<br>Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り出してください。 |
| 電池を取る<br>プラグを抜く | **長期間使用しないときは電源（電池、本体充電AC アダプターまたはACアダプター）を外すこと**<br>電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。<br>本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。 |
| 発光禁止 | **内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと**<br>やけどや発火の原因になることがあります。 |
| 禁止 | **布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと**<br>熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。 |
| 放置禁止 | **窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと**<br>内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。 |
| 禁止 | **付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと**<br>機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。 |

## ⚠注意
（3D画像について）

使用注意

**本機器で撮影した3D画像をテレビまたはモニターなどで長時間続けて視ない**
**特に視覚の発達段階にある幼児は、事前に小児科や眼科などの医師の指示に従う**
眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。症状が出たときは、3D画像の閲覧をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。

## ⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止

**電池を火に入れたり、加熱しないこと**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

**電池を分解しない**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

**Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX P330に対応しています。**
**EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

**充電には専用の充電器を使う**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しない**
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは、端子カバーをつけてください。

危険

**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること**
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

## ⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意

**電池は、幼児の手の届く所に置かない**
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

**水につけたり、ぬらさないこと**
液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**充電の際に、所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる**
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること**
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと**
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

## ⚠警告
（本体充電ACアダプターについて）

分解禁止

**分解したり修理・改造をしないこと**
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止
すぐに修理依頼を

**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**
感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

プラグを抜く
すぐに修理依頼を

**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

| | | |
|---|---|---|
| 水かけ禁止 | **水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**<br>発火したり感電の原因となります。 |
| 使用禁止 | **引火、爆発のおそれのある場所では使わない**<br>プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。 |
| 警告 | **電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること**<br>そのまま使用すると、火災の原因になります。 |
| 使用禁止 | **雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと**<br>感電の原因となります。<br>雷が鳴り止むまで機器から離れてください。 |
| 禁止 | **ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと**<br>**また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと**<br>ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。 |
| 禁止 | **通電中のACアダプターに長時間直接触れない**<br>使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。 |
| 感電注意 | **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと**<br>感電の原因となります。 |
| 禁止 | **海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと**<br>発熱、故障、火災の原因となります。 |

## ⚠注意

（本体充電ACアダプターについて）

| | |
|---|---|
| 感電注意 | **ぬれた手でさわらないこと**<br>感電の原因になることがあります。 |
| 放置禁止 | **製品は、幼児の手の届く所に置かない**<br>ケガの原因になることがあります。 |
| 禁止 | **布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと**<br>熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。 |

# ＜重要＞GPSについて

**●本製品の地名情報データについて**

GPS機能をお使いの前に、「地名情報データ使用許諾契約書」（15）を必ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地名情報（Point of Interest：POI）は、2012年4月現在のものです。
  地名情報の更新はいたしません。
- 地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。
- 中華人民共和国（以下「中国」）と大韓民国の地名情報（POI）は、搭載していません。

**●GPS機能について**

- 本製品が計測する情報は、あくまでも目安です。
  航空機、車、人などの航法用途、および測量用途にお使いになれません。
- GPS設定メニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にしていると、カメラの電源をOFFにした後もGPS機能が作動します（99）。
  本製品が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。航空機の離着陸時や病院などの使用禁止・制限区域では、必ず［**位置情報記録機能**］を［**OFF**］にしてから、カメラの電源をOFFにしてください。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、GPSログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。
  「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」（v）も必ずお読みください。

**●海外でお使いの場合**

GPS機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。

たとえば、中国では、政府の許可なしに位置情報ログの収集はできません。［**位置情報記録機能**］を［**OFF**］にしてご使用ください。

- 中国および中国の周辺国の国境付近では、GPSが正常に機能しない場合があります（2012年12月現在）。

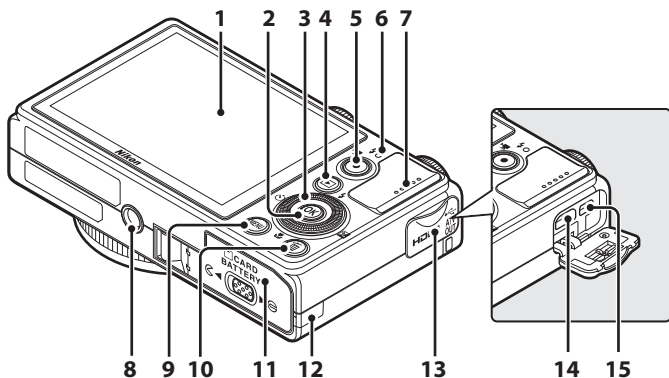
# 目次

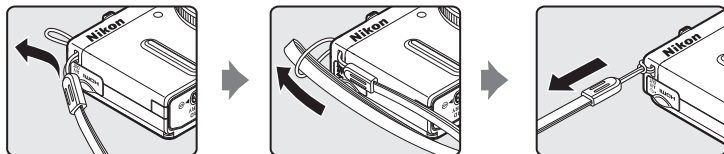
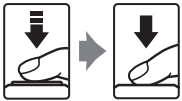
## ■ 付録、索引 ........ 1

# 各部の名称と主な役割

## カメラ本体

| | |
|---|---|
| 1 | ストラップ取り付け部 ..................2 |
| 2 | ズームレバー ...............................25<br>W：広角ズーム .......................25<br>T：望遠ズーム .......................25<br>▦：サムネイル表示 ..............83<br>🔍：拡大 ....................................82<br>❓：ヘルプ ..............................32 |
| 3 | コマンドダイヤル ...........3、5、45 |
| 4 | シャッターボタン ................. 4、26 |
| 5 | 電源スイッチ/電源ランプ .............19 |
| 6 | モードダイヤル ............................22 |
| 7 | マイク（ステレオ）...........85、92 |
| 8 | GPSアンテナ ................................ 99 |
| 9 | フラッシュ ................................... 52 |
| 10 | ⚡（フラッシュポップアップ）レバー .......................................... 52 |
| 11 | セルフタイマーランプ ............... 55<br>AF補助光 .....................................104 |
| 12 | レンズ |
| 13 | Fn（ファンクション）ボタン ...........................................................4 |
| 14 | レンズ バリアー |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 液晶モニター ........................8、22 | 9 | MENU（メニュー）ボタン ................6 |
| 2 | ⓀK（決定）ボタン .................. 3、5 | 10 | 🗑（削除）ボタン ...............29、97 |
| 3 | ロータリーマルチセレクター（マルチセレクター）※ .......... 3、5 | 11 | バッテリー / SDカードカバー .................12、16 |
| 4 | ▶（再生）ボタン .............28、97 | 12 | パワーコネクターカバー（別売ACアダプター用） |
| 5 | ●（動画撮影）ボタン ......................................28、92 | 13 | 端子カバー ..........................14、87 |
| 6 | 充電ランプ ....................................14<br>フラッシュランプ ........................52 | 14 | HDMIマイクロ端子（Type D） ........................................................87 |
| 7 | スピーカー ................85、97、104 | 15 | USB/オーディオビデオ出力端子 ................................................14、87 |
| 8 | 三脚ネジ穴 | | |

※　本書では「マルチセレクター」と表記することがあります。

## ストラップの取り付け方

※　左右のストラップ取り付け部のどちらにも、ストラップを取り付けられます。

# 操作部の主な役割

## 撮影時

| 操作部 | 主な機能 | 📖 |
|---|---|---|
| モードダイヤル | 撮影モードを切り換える | 22 |
| ズームレバー | **T**（🔍）（望遠）方向で被写体を大きく、**W**（⊞）（広角）方向で広い範囲を写す | 25 |
| ロータリーマルチセレクター | • 撮影画面の表示中：<br>上（▲）で⚡（フラッシュモード）、左（◀）で⏲（セルフタイマー / 笑顔自動シャッター）、下（▼）で🌷（フォーカスモード）、右（▶）で☒（露出補正）の設定画面を表示する<br>• 撮影モード A、M 時：<br>回転して絞り値を設定する<br>• 設定画面の表示中：<br>▲、▼、◀、▶ または回転で項目を選ぶ、Ⓚ ボタンで選択を決定する | 51<br><br><br><br><br><br>45、47<br><br>6 |
| コマンドダイヤル | • 撮影モード P 時：<br>プログラムシフトを設定する<br>• 撮影モード S、M 時：<br>シャッタースピードを設定する<br>• 設定画面の表示中：項目を選ぶ | 45、47<br><br>45、47<br><br>6 |
| MENU（メニュー）ボタン | メニューを表示/終了する | 6 |

### カメラ本体

| 操作部 | 主な機能 | 📖 |
|---|---|---|
| シャッターボタン | 半押し：少し抵抗を感じるところまで押し、ピントと露出を固定する<br>全押し：深く押し込み、シャッターをきる | 26 |
| ●（動画撮影）ボタン | 動画撮影を開始/終了する | 92 |
| Fn（ファンクション）ボタン | 撮影モードがP、S、A、M、U時：［**連写**］や［**手ブレ補正**］などの設定メニューを表示/終了する | 68 |
| 再生ボタン | 画像を再生する | 28 |
| 削除ボタン | 最後に保存した画像を1コマ削除する | 29 |

### 再生時

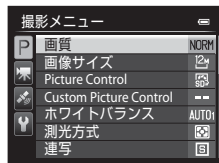
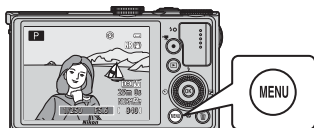
| 操作部 | 主な機能 | 📖 |
|---|---|---|
| 再生ボタン | • 電源 OFF 時に長押しして、再生モードで電源を ON にする<br>• 撮影に戻る | 19<br>28 |
| ズームレバー | • **T**（Q）方向で拡大表示、**W**（▦）方向でサムネイル / カレンダー表示する<br>• 音声メモ、動画再生の音量を調節する | 82、83<br>85、97 |

| 操作部 | 主な機能 | 📖 |
|---|---|---|
| ロータリーマルチセレクター | • 再生画面の表示中：<br>上（▲）、左（◀）、下（▼）、右（▶）、または回転で表示画像を切り換える<br>• 設定画面の表示中：<br>▲、▼、◀、▶ または回転で項目を選ぶ<br>• 拡大表示中：表示位置を移動する | 28<br><br><br>6<br><br>82 |
| 決定ボタン | • ヒストグラムとトーンレベル、撮影情報を表示する /1 コマ表示に戻る<br>• 連写グループの画像を 1 コマずつ表示する<br>• かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する<br>• 動画を再生する<br>• サムネイル表示 / 拡大表示から 1 コマ表示に戻る<br>• 設定画面の表示中に、選択を決定する | 28<br><br>28<br><br>40<br><br>97<br>83<br><br>6 |
| コマンドダイヤル | 拡大した画像の倍率を切り換える | 82 |
| MENU（メニュー）ボタン | メニューを表示/終了する | 6 |
| 削除ボタン | 画像を削除する | 29 |
| シャッターボタン<br>●（動画撮影）ボタン | 撮影に戻る | – |

# メニューの基本操作

メニュー画面では、撮影や再生、カメラに関する各種設定を変更できます。

## 1 MENUボタンを押す

- 撮影や再生など、カメラの状態に応じたメニューが表示されます。

## 2 マルチセレクターでメニュー項目を選ぶ

- ▲▼：上下の項目を選びます。マルチセレクターを回しても選べます。
- ◀ ▶：左右の項目を選ぶ、またはメニューの階層を移動します。
- ㊍：項目を決定します。▶を押しても決定できます。
- タブを切り換えるには → □7

決定

## 3 設定が終わったら、MENUボタンまたはシャッターボタンを押す

- シャッターボタンを押すと、撮影画面になります。

### メニュー表示中のコマンドダイヤル操作について

メニュー表示中にコマンドダイヤルを回すと、選んでいる項目の設定値を変更できます。コマンドダイヤルでは変更できない設定値もあります。

## メニュータブを切り換える

セットアップメニュー（🕮103）など別のメニューを表示するときは、マルチセレクターでタブを切り換えます。

タブ

◀を押してタブへ移動

▲▼を押してタブを選び、®ボタンまたは▶を押して決定

### タブの種類

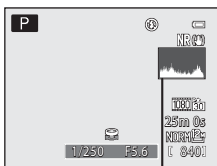
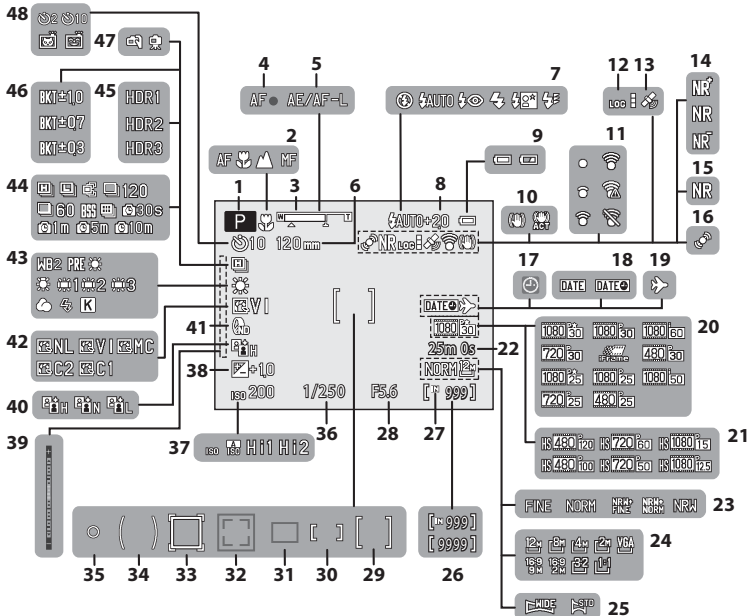
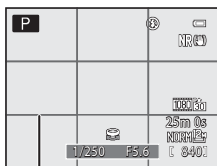
| 撮影時 | 再生時 |
|---|---|
| **P**タブ：<br>使用中の撮影モード（🕮23）で使える項目を表示します。タブのアイコンは、撮影モードによって異なります。<br>🎥タブ：<br>動画撮影専用の項目を表示します。 | ▶タブ：<br>再生モードで使える項目を表示します。 |

🛰タブ：
GPS設定メニュー（🕮101）の項目を表示します。

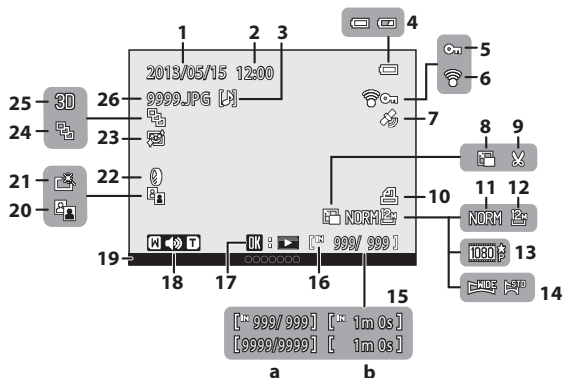
🔧タブ：
セットアップメニュー（🕮103）の項目を表示します。

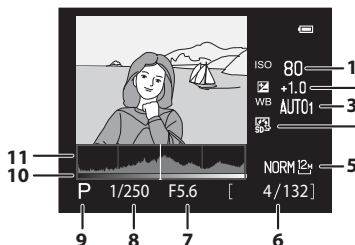
# モニター画面の表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[**モニター設定**]（📖103）→［**モニター表示設定**］→［**情報オート**］時）。

## 撮影時

| | |
|---|---|
| 1 | 撮影モード ................................22、23 |
| 2 | フォーカスモード ........................59 |
| 3 | ズーム表示 ............................25、59 |
| 4 | AF表示 ........................................27 |
| 5 | AE/AF-L表示 ...............................43 |
| 6 | ズームメモリー .............................67 |
| 7 | フラッシュモード ........................53 |
| 8 | 調光補正 .......................................66 |
| 9 | バッテリー残量表示 ....................18 |
| 10 | 手ブレ補正表示 ......................... 104 |
| 11 | Eye-Fi通信表示 ..........................106 |
| 12 | ログ取得表示 ..............................102 |
| 13 | GPS受信状態 ...............................100 |
| 14 | ノイズ低減フィルター .................66 |
| 15 | 連写NR撮影 ..................................35 |
| 16 | モーション検知表示 .................. 104 |
| 17 | 日時未設定 ..........................21、103 |
| 18 | デート写し込み ..........................103 |
| 19 | 訪問先 .........................................103 |
| 20 | 動画設定（通常速度の動画）..... 96 |
| 21 | 動画設定（HS動画）.....................96 |
| 22 | 記録可能時間（動画）....................92 |
| 23 | 画質 ...............................................69 |
| 24 | 画像サイズ ....................................71 |
| 25 | かんたんパノラマ ........................40 |
| 26 | 記録可能コマ数（静止画）....18、73 |
| 27 | 内蔵メモリー表示 ..............18、92 |
| 28 | 絞り値 ...........................................45 |
| 29 | AFエリア（中央時）............66、81 |
| 30 | AFエリア（マニュアル）.......................................... 37、38、66 |
| 31 | AFエリア（オート時、ターゲットファインドAF時）......... 27、66、79 |
| 32 | AFエリア（顔認識時、ペット検出時）....................................41、56、66、80 |
| 33 | AFエリア（ターゲット追尾時）.........................................................66 |
| 34 | 中央部重点測光範囲 .....................65 |
| 35 | スポット測光範囲 ..........................65 |
| 36 | シャッタースピード ................... 45 |
| 37 | ISO感度表示 ............................... 66 |
| 38 | 露出補正値 ................................... 60 |
| 39 | 露出インジケーター ................... 47 |
| 40 | アクティブD-ライティング ...... 66 |
| 41 | 内蔵NDフィルター設定 ............ 66 |
| 42 | COOLPIXピクチャーコントロール ...................................................... 65 |
| 43 | ホワイトバランス ....................... 65 |
| 44 | 連写モード ............................41、65 |
| 45 | 逆光（HDR）................................ 39 |
| 46 | AEブラケティング ...................... 66 |
| 47 | 手持ち撮影/三脚撮影 ......... 33、36 |
| 48 | セルフタイマー .......................... 55<br>笑顔自動シャッター .....................56<br>ペット自動シャッター ............... 41 |
| 49 | ヒストグラム表示 .....................103 |
| 50 | 格子線表示................................ 103 |
| 51 | 地名情報（POI情報）................ 101 |

## 再生時

1 コマ表示（□28）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 撮影日 ......... 20 | 16 | 内蔵メモリー表示 ......... 28 |
| 2 | 撮影時刻 ......... 20 | 17 | かんたんパノラマ再生ガイド<br>連写グループ再生ガイド<br>動画再生ガイド ......... 97 |
| 3 | 音声メモ表示 ......... 85 | 18 | 音量表示 ......... 85、97 |
| 4 | バッテリー残量表示 ......... 18 | 19 | 地名情報（POI情報）......... 100 |
| 5 | プロテクト表示 ......... 84 | 20 | D-ライティング済み表示 ......... 84 |
| 6 | Eye-Fi通信表示 ......... 106 | 21 | 簡単レタッチ済み表示 ......... 84 |
| 7 | GPS情報記録済み表示 ......... 100 | 22 | フィルター効果済み表示 ......... 84 |
| 8 | スモールピクチャー ......... 84 | 23 | 美肌編集済み表示 ......... 84 |
| 9 | トリミング ......... 82 | 24 | 連写グループ表示<br>（[**1枚ずつ**] 設定時） |
| 10 | プリント指定表示 ......... 84 | 25 | 3D画像表示 ......... 43 |
| 11 | 画質 ......... 69 | 26 | ファイル名 |
| 12 | 画像サイズ ......... 71 | | |
| 13 | 動画設定 ......... 92、96 | | |
| 14 | かんたんパノラマ表示 ......... 40 | | |
| 15 | (a)画像の番号/全画像数 ......... 28<br>(b)動画の再生時間 ......... 97 | | |

### トーンレベルインフォメーション表示[※1]（□28）

| | | |
|---|---|---|
| 1 | ISO感度 | 66 |
| 2 | 露出補正値 | 60 |
| 3 | ホワイトバランス | 65 |
| 4 | COOLPIXピクチャーコントロール | 65 |
| 5 | 画質/画像サイズ | 69 |
| 6 | 画像の番号/全画像数 | 28 |
| 7 | 絞り値 | 27 |
| 8 | シャッタースピード | 27 |
| 9 | 撮影モード[※2] | 23 |
| 10 | トーンレベル[※3] | |
| 11 | ヒストグラム[※4] | |

※1 ハイライト部の白とびや暗部の黒つぶれの状態を、ヒストグラム表示やトーン（明暗）レベルごとの点滅表示などで確認できます。露出補正などで画像の明るさを調整する際の目安になります。

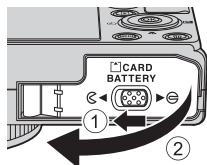
※2 撮影モードが、◘、SCENE、▣、Pのときには P と表示されます。

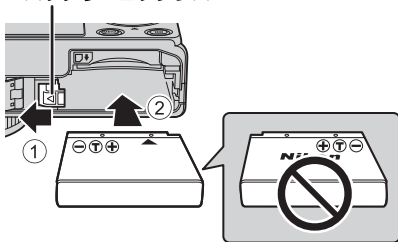
※3 トーンレベルは、明暗のレベルを表します。マルチセレクターを回すか、◀▶を押して確認するトーンレベルを選ぶと、選んだトーンレベルに対応する画像の部分が点滅します。前後の画像を表示するには、マルチセレクターの▲▼を押します。

※4 ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。

# 撮影と再生の基本ステップ

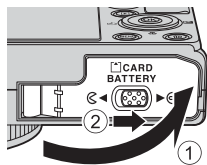
## 準備1　バッテリーを入れる

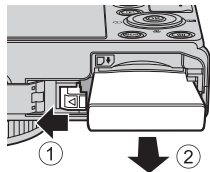
**1** バッテリー /SDカードカバーを開ける

**2** 付属のバッテリー（Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12）を入れる

- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 正しく入れると、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

**逆挿入に注意**

**バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。**正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

**3** バッテリー /SDカードカバーを閉じる

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。→📖14

## バッテリーを取り出すときは

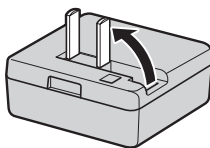
電源をOFFにして（□19）、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

### 高温注意

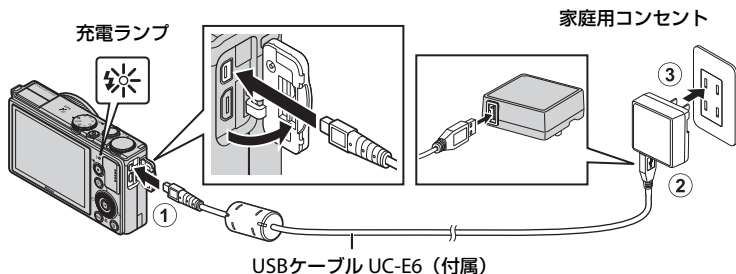
カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

### バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（□ix）、「警告」（□x）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーについて」（☆3）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

# 準備2　バッテリーを充電する

**1** 付属の本体充電ACアダプター EH-69Pを用意する

**2** バッテリーを入れたカメラと本体充電ACアダプターを①～③の順に接続する

- 電源はOFFにしたままにしてください。
- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

- カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約4時間30分です。
- フル充電されると、充電ランプが消灯します。
- 充電ランプについて→📖15

**3** コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

撮影と再生の基本ステップ

## 充電ランプについて

| 状態 | 意味 |
|---|---|
| ゆっくり点滅（緑色） | 充電中です。 |
| 消灯 | 充電していません。ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。 |
| 速い点滅（緑色） | • 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5℃ ～ 35℃の室内で充電してください。<br>• USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。 |

### 本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプターをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（□x）、「注意」（□xi）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　本体充電ACアダプターについて」（☼4）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

### パソコンや充電器で充電する

- COOLPIX P330をパソコンに接続してもLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12を充電できます（□87、105）。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-65Pを使うと、カメラを使わずにEN-EL12を充電できます。

### 充電中にカメラを操作する

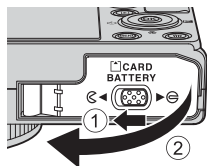
本体充電ACアダプターの接続中は、電源スイッチを押しても電源はONになりません。▶（再生）ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになり、撮影した画像の再生ができます。撮影はできません。

### AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62Fを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

# 準備3　SDカードを入れる

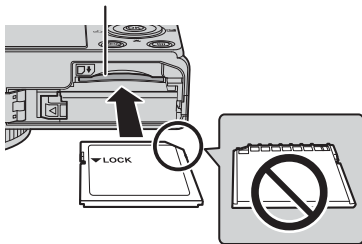
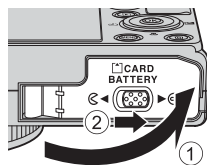
**1** 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開ける

- カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

**2** SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込みます。

**逆挿入に注意**

**SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。**正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

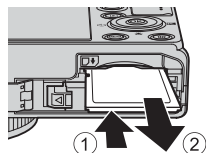
SDカードスロット

**3** バッテリー /SDカードカバーを閉じる

## SDカードの初期化について

- 他の機器で使ったSD カードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。
- **SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SD カードを初期化するには、カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー（□103）の［**カードの初期化**］を選びます。

## SDカードについてのご注意

SDカードの使用説明書や「取り扱い上のご注意　メモリーカードについて」（☼5）をご覧ください。

### SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
SD カードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SD カードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

**高温注意**

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

## 内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約15 MB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使って記録や再生をするときはSDカードを取り出してください。

## 推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

| | SD メモリーカード | SDHC メモリーカード※2 | SDXC メモリーカード※3 |
|---|---|---|---|
| SanDisk | 2 GB※1 | 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB | 64 GB、128 GB |
| TOSHIBA | 2 GB※1 | 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB | 64 GB |
| Panasonic | 2 GB※1 | 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB | 64 GB |
| Lexar | – | 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB | 64 GB、128 GB |

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

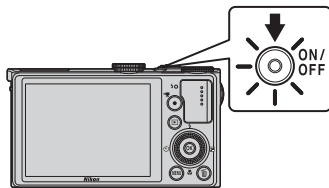
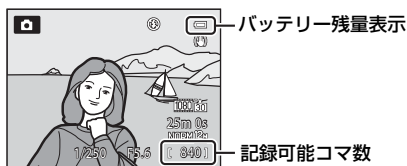
※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

# ステップ1　電源をONにする

**1** 電源スイッチを押して電源を ON にする

- はじめて電源をONにしたときは →「表示言語と日時を設定する」（□20）
- レンズが繰り出し、液晶モニターが点灯します。

**2** バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する

**バッテリー残量表示**

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| [電池アイコン] | バッテリー残量はあります。 |
| [電池アイコン] | バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。 |
| ❶<br>**電池残量がありません** | 撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。 |

**記録可能コマ数**

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SD カードをカメラに入れていないときは、IN が表示され、画像を内蔵メモリー（約15 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画質/画像サイズによって異なります（□69）。
- イラスト上の記録可能コマ数の数値は、実際とは異なります。

## 電源のON/OFFについて

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。液晶モニターも、電源ランプも消灯します。
- 再生モードで電源を ON にするには、▶（再生）ボタンを長押しします。このとき、レンズは繰り出しません。
- GPS設定メニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にしていると、カメラの電源をOFFにした後もGPS機能が作動します（📖99）。

### 節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。

- 待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のいずれかの操作をします。
  - 電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタン、または●（動画撮影）ボタンを押す。
  - モードダイヤルを回す。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（📖103）の［**オートパワーオフ**］で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約1分で待機状態になります。
- ACアダプター EH-62F（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。

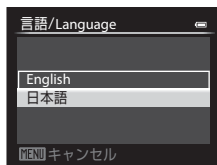
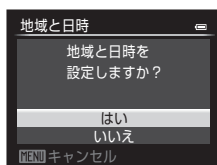
### バッテリーの消耗について

- ログ取得中（📖102）やWi-Fi接続中は、バッテリーを通常より消耗します。

撮影と再生の基本ステップ

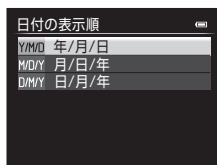
## 表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

**1** マルチセレクターの▲または▼で表示言語を選び、Ⓚボタンを押す

**2** ▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

**3** ◀または▶で自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、Ⓚボタンを押す

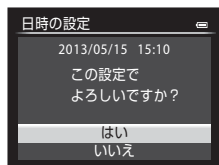
- 夏時間（サマータイム）を実施している地域では、▲を押して夏時間の設定をオンにします。マークが表示されます。オフにするには、▼を押します。

**4** ▲または▼で日付の表示順を選び、Ⓚボタンまたは▶を押す

撮影と再生の基本ステップ

## 5 ▲、▼、◀または▶で日時を合わせ、Ⓚボタンを押す

- 項目を選ぶ：▶または◀を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**]、に切り換わります）。
- 項目の内容を合わせる：▲または▼を押します。マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回しても変更できます。
- 設定を確認する：[**分**] を選び、Ⓚボタンまたは▶を押します。

## 6 ▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。

### 時計用電池について

- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。
  バックアップ用電池は、カメラにバッテリーを入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「表示言語と日時を設定する」手順2（□20）

### 言語や日時の設定をやり直すには

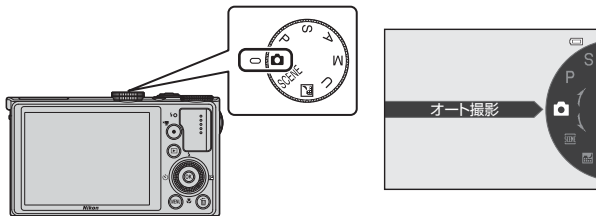
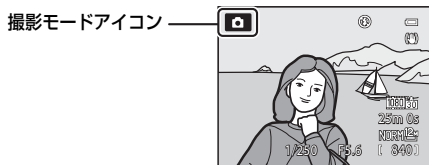
- セットアップメニュー（□103）で［**言語/Language**］または［**地域と日時**］を設定します。
- セットアップメニュー →［**地域と日時**］→［**タイムゾーン**］で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。
- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で◉が点滅します。セットアップメニューの［**地域と日時**］で日時を設定してください。

### 撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニューで［**デート写し込み**］を設定すると、撮影時に、画像に日付を入れられます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（□88）を使うと、日付を入れてプリントできます。

# ステップ2　撮影モードを選ぶ

## モードダイヤルを回して、撮影モードを選ぶ

- ここでは、A（オート撮影）モードを例に説明します。Aに合わせてください。

- A（オート撮影）モードの撮影画面になり、撮影モードアイコンがAになります。

- モニター画面の表示内容 → □8

**フラッシュについて**

暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、フラッシュをポップアップしてください（□52）。

## 撮影モードの種類

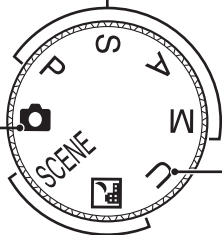
**P、S、A、Mモード（□45）**

シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー（□64）の項目を設定できます。

**Uユーザーセッティングモード（□49）**

撮影でよく使う設定の組み合わせを登録できます。登録した設定は、モードダイヤルをUに合わせるだけで、すぐに呼び出して撮影できます。

**（オート撮影）モード（□31）**

細かい設定を気にせず、気軽に基本的な撮影ができます。

**シーンモード（□32）**

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。
SCENE（シーン）：撮影したいシーンをメニューで選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。
おまかせシーンモードにすると、構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、より簡単にシーンに適した撮影ができます。
スペシャルエフェクトにすると、画像に効果を付けて撮影できます。

- シーンを選ぶには、モードダイヤルをSCENEに合わせてMENUボタンを押し、マルチセレクターの▲▼でシーンを選んでOKボタンを押します。

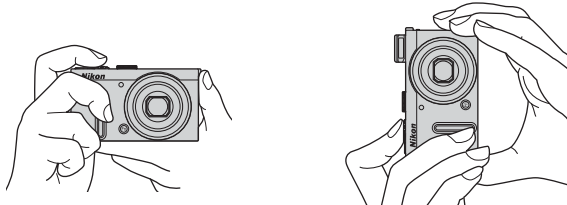
（夜景）：夜景の雰囲気を表現して撮影できます。

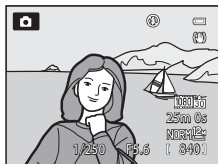
**撮影時の設定を変えるには**

- マルチセレクターで設定できる機能 → □51
- MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能
  - 撮影メニュー → □64、96
  - セットアップメニュー → □103
- Fn（ファンクション）ボタンで設定できる機能 → □68

# ステップ3　カメラを構え、構図を決める

## 1　カメラをしっかりと構える

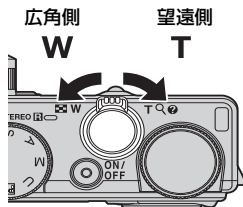
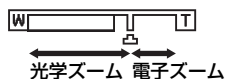
- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。

## 2　構図を決める

- 写したいもの（被写体）にカメラを向けます。

### 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所でフラッシュを閉じているとき、またはフラッシュが発光しない撮影モードのとき
  - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（🕮103）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

## ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）方向に回す。
- 広い範囲を写す：**W**（広角）方向に回す。
- ズームレバーをいっぱいまで回すとズーム動作が速くなり、途中まで回すとズーム動作がゆっくりになります（動画撮影中を除く）。

- ズームレバーを回すとモニター画面の上部にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを**T**方向に回すと、電子ズームが作動し、さらに約2倍まで拡大できます。

### 電子ズームと画質の劣化について

- 電子ズーム使用時は、ズームの量がズーム表示の凸マークを超えると、画質の劣化が始まります。
  凸マークの位置は撮影する画像サイズ（□71）が小さいほど右に移動します。

- セットアップメニュー（□103）の［**電子ズーム**］で、電子ズームが作動しない設定にできます。

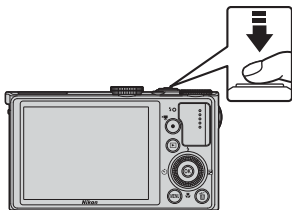
### 関連ページ

- ズームメモリー → □67
- 起動ポジション設定 → □67

撮影と再生の基本ステップ

# ステップ4　ピントを合わせ、シャッターをきる

## 1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

- シャッターボタンを指先に少し抵抗を感じるところまで押し、そのまま止める操作を「半押し」と呼びます。
- ピントが合うと、「AFエリア」または「AF表示」（🕮8）が緑色に点灯します。
赤色に点滅したときは、ピントが合っていません。半押しをやり直してください。
- 「ピントと露出について」→ 🕮27

AFエリア

## 2 シャッターボタンを全押しして、シャッターをきる

- シャッターボタンを深く押し込む操作を「全押し」と呼びます。

### 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

### AF補助光について

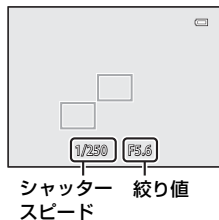
暗い場所では、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（🕮1、104）が点灯することがあります。

### シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

## ピントと露出について

シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。半押ししている間は、ピントと露出が固定されます。

- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示が緑色に点灯します。
- 被写体によってはピント合わせができないことがあります。
  →「オートフォーカスが苦手な被写体」（□81）
- オート撮影モードのときは、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
  ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

- P、S、A、M、Uモードのときは、ピント合わせをするAFエリアを、撮影メニューの［**AFエリア選択**］（□66）で設定できます。
- シーンモード時のAFエリアは、選んだシーンによって異なります（□32）。

### 被写体との距離が近い場合

ピントが合わないときは、フォーカスモードの🌷（マクロAF）（□59）またはシーンモードの［**クローズアップ**］（□37）での撮影をお試しください。

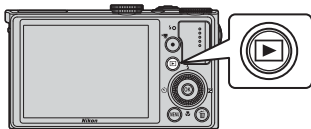
### 関連ページ

ピント合わせについて → □79

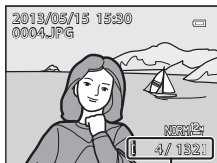
撮影と再生の基本ステップ

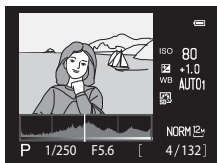
# ステップ5　画像を再生する

## 1　▶（再生）ボタンを押す

- 再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。

## 2　マルチセレクターで前後の画像を表示する

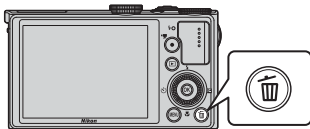
画像の番号/全画像数

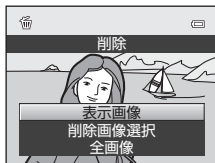
- 前の画像を表示する：▲または◀
- 次の画像を表示する：▼または▶
- マルチセレクターを回しても画像を選べます。
- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号/全画像数」にINが表示されます。
- 撮影に戻るには、もう一度 ▶ ボタンを押すか、シャッターボタンまたは●（動画撮影）ボタンを押します。

### 撮影情報を表示する

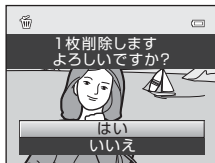
再生モードの1コマ表示で<sup></sup>OKボタンを押すと、トーンレベルインフォメーションと撮影情報を表示します（□11）。1コマ表示に戻るには、もう一度OKボタンを押します。

### 画像の再生について

- 顔認識（□80）またはペット検出（□41）して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。
- 画像の向き（縦横位置）は、再生メニュー（□84）の［**画像回転**］で変更できます。
- 連写した画像を1コマずつ表示したいときは、OKボタンを押します。元の表示に戻すときは、マルチセレクターの▲を押します（連写グループ表示）。
- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。

# ステップ6　不要な画像を削除する

**1** 削除したい画像を表示し、🗑 ボタンを押す

**2** マルチセレクターの▲または▼で削除方法を選び、Ⓚボタンを押す

- ［**表示画像**］：表示している 1 コマを削除します。連写グループの代表画像を選んでいるときは、再生中の連写グループの画像をすべて削除します。
- ［**削除画像選択**］：複数の画像を選んで削除します。→「削除画像選択画面の操作方法」（□30）
- ［**全画像**］：すべての画像を削除します。
- 削除をやめるには、MENUボタンを押します。

**3** ▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。
- 削除をやめるときは、▲または▼で［**いいえ**］を選び、Ⓚボタンを押します。

### 画像削除についてのご注意

- 削除した画像は元に戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- プロテクト設定（□84）した画像は、削除されません。
- ［**画質**］（□69）の設定を［**RAW (NRW) + FINE**］または［**RAW (NRW) + NORMAL**］にして撮影した画像を、このカメラで削除すると、同時記録したRAW (NRW)とJPEGの画像が両方とも削除されますのでご注意ください。片方のみを削除することはできません。
- 連写した画像は、撮影した一連の画像が1つのグループ（連写グループ）となり、初期設定ではグループ内の1コマ目の画像（代表画像）のみを表示します。
  代表画像のみの表示中に🗑ボタンを押すと、代表画像を含む同じ連写グループの画像すべてが削除の対象になります。
  連写グループ内の画像を個別に削除するときは、🗑ボタンを押す前にⓀボタンを押して、1コマずつに展開表示してください。

### 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで🗑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

## 削除画像選択画面の操作方法

**1** マルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選び、▲で✓を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して✓を非表示にします。
- ズームレバー（□25）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと一覧表示に切り換わります。

**2** 削除したい画像すべてに✓を表示し、Ⓚボタンを押して選択を決定する

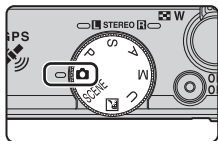
- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

# いろいろな撮影

## （オート撮影）モード

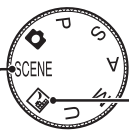
細かい設定を気にせず、気軽に基本的な撮影ができます。
ピント合わせをするエリアは、構図や被写体によって、カメラが選びます。

- 9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
  ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

- 「ピントと露出について」→ 27

### （オート撮影）モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能 → 51
- MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能
  - 画質/画像サイズ → 69
  - セットアップメニュー → 103

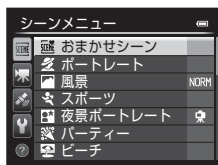
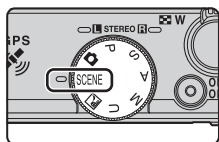
# シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

モードダイヤルやシーンメニューから、以下の撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

**夜景（33）**

モードダイヤルをに合わせて撮影します。

**SCENE（シーン）**

MENUボタンを押してシーンメニューを表示すると、以下の撮影シーンを選べます。

| | |
|---|---|
| おまかせシーン（初期設定）（34） | クローズアップ（37） |
| ポートレート（34） | 料理（38） |
| 風景（35） | ミュージアム（38） |
| スポーツ（35） | 打ち上げ花火（38） |
| 夜景ポートレート（36） | モノクロコピー（38） |
| パーティー（36） | 逆光（39） |
| ビーチ（36） | パノラマ（40） |
| 雪（36） | ペット（41） |
| 夕焼け（36） | スペシャルエフェクト（42） |
| トワイライト（36） | 3D 3D撮影（43） |

## 各シーンの説明を見る（ヘルプ表示）

シーンメニューでシーンの種類を選び、ズームレバー（1）を**T**（?）方向に回すと、そのシーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（?）方向に回します。

**関連ページ**

メニューの基本操作 → 6

### シーンモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能 → 51
- MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能
  - 画質/画像サイズ → 69
  - セットアップメニュー → 103

## シーンモードの種類と特徴

- マークが記載されているシーンでは、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などのご使用をおすすめします。
- 三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（103）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。
- フラッシュを使うシーンでは、（フラッシュポップアップ）レバーを下げてフラッシュをポップアップしてから撮影してください（52）。

### 夜景

- MENU ボタンを押し、［**夜景**］から［**手持ち撮影**］または［**三脚撮影**］を選びます。
- ［**手持ち撮影**］（初期設定）：手持ちでも手ブレやノイズの少ない撮影ができます。
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- ［**三脚撮影**］：三脚などで固定して撮影するときに使います。
  - セットアップメニュー（103）の［**手ブレ補正**］を［**NORMAL**］または［**ACTIVE**］に設定していても、手ブレ補正を行いません。
  - シャッターボタンを全押しすると、遅いシャッタースピードで 1 コマ撮影します。
- シャッターボタンを半押しすると、遠景にピントを合わせます。AF エリアまたは AF 表示（8）は常に緑色に点灯します。

## SCENE ➔ おまかせシーン

構図を決めるだけでカメラが以下の撮影シーンを自動判別して選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

- シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わります。

| | |
|---|---|
| | ポートレート（1 ～ 2 人のアップ） |
| | ポートレート（3 人以上の撮影や背景の面積が大きい構図） |
| | 風景 |
| | 夜景ポートレート（1 ～ 2 人のアップ） |
| | 夜景ポートレート（3 人以上の撮影や背景の面積が大きい構図） |
| | 夜景<br>（夜景）（33）の［**手持ち撮影**］と同様に、連続で撮影して画像を重ね合わせ、1コマ記録します。 |
| | クローズアップ |
| | 逆光（人物以外の撮影） |
| | 逆光（人物撮影） |
| | その他の撮影シーン |

- ピント合わせをするエリア（AF エリア）は、構図によってカメラが選びます。カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（80）。
- 電子ズームは使えません。

### おまかせシーンのシーン判別について

撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、（オート撮影）モード（22）に切り換えるか、撮影する被写体にあったシーンモードを選んで撮影してください。

## SCENE ➔ ポートレート

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（80）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにします（44）。
- 顔を認識しないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 電子ズームは使えません。

### SCENE ➔ 風景

［**風景**］を選ぶと表示される画面で、［**連写NR撮影**］または［**通常撮影**］を選びます。

- ［**連写 NR撮影**］：ノイズを抑えたシャープな風景を撮影できます。
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- ［**通常撮影**］（初期設定）：輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
  - シャッターボタンを全押しすると 1 コマ撮影します。
- シャッターボタンを半押しすると、遠景にピントを合わせます。AF エリアまたは AF 表示（□8）は常に緑色に点灯します。

### SCENE ➔ スポーツ

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、約 10 コマ / 秒の速さで最大 10 コマまで連写できます（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが［**4000×3000**］のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- 画質、画像サイズ、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。

### SCENE ➔ 夜景ポートレート

［**夜景ポートレート**］を選ぶと表示される画面で、［**手持ち撮影**］または［**三脚撮影**］を選びます。

- ［**手持ち撮影**］：手持ちで撮影するときに使います。
- ［**三脚撮影**］（初期設定）：三脚などで固定して撮影するときに使います。
  - セットアップメニュー（103）の［**手ブレ補正**］を［**NORMAL**］または［**ACTIVE**］に設定していても、手ブレ補正を行いません。
- 遅いシャッタースピードで 1 コマ撮影します。［**手持ち撮影**］では、［**三脚撮影**］に比べて、手ブレしにくくなるように、撮影状況によってシャッタースピードを速めに制御します。
- フラッシュが常に発光します。フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（80）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにします（44）。
- 顔を認識しないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 電子ズームは使えません。

### SCENE ➔ パーティー

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（103）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

### SCENE ➔ ビーチ

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

### SCENE ➔ 雪

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

### SCENE ➔ 夕焼け

- シャッターボタンを半押しすると、遠景にピントを合わせます。AF エリアまたは AF 表示（8）は常に緑色に点灯します。

### SCENE ➔ トワイライト

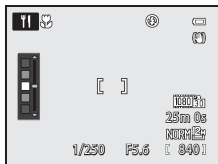
- シャッターボタンを半押しすると、遠景にピントを合わせます。AF エリアまたは AF 表示（8）は常に緑色に点灯します。

### SCENE ➔ 🌿 クローズアップ

🌿［**クローズアップ**］を選ぶと表示される画面で、［**連写NR撮影**］または［**通常撮影**］を選びます。

- ［**連写 NR撮影**］：ノイズを抑えたシャープな撮影ができます。
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 連写中に被写体が動いたり、手ブレが大きかったりすると、画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- ［**通常撮影**］（初期設定）：輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
  - シャッターボタンを全押しすると 1 コマ撮影します。
- フォーカスモード（📖58）が 🌷（マクロ AF）になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、Ⓚ ボタンを押し、マルチセレクターを回すか、▲▼◀ ▶ を押します。以下の設定をするときは、Ⓚ ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード（［**通常撮影**］時）
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

### SCENE ➔ 料理

- フォーカスモード（58）が （マクロ AF）になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをコマンドダイヤルを回して調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、OK ボタンを押し、マルチセレクターを回すか、▲▼◀▶ を押します。以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - 色合い
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。



### SCENE ➔ ミュージアム

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター）（65））。

### SCENE ➔ 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4秒に固定されます。
- ピントは、遠景に固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（8）が緑色に点灯します。

### SCENE ➔ モノクロコピー

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、フォーカスモード（58）の （マクロ AF）を併用してください。

### SCENE ➔ 逆光

［**逆光**］を選ぶと表示される画面で、［**HDR**］からHDR（ハイダイナミックレンジ）合成の設定ができます。

- ［**HDR**］が［**OFF**］時（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- ［**HDR**］が［**レベル 1**］～［**レベル 3**］時：明暗差の大きい風景撮影に適しています。明暗差が小さいときは［**レベル 1**］が、明暗差が大きいときは［**レベル 3**］が適しています。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

### HDRについてのご注意

- 三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（103）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- シャッターボタンを全押しすると連写し、以下の2コマを記録します。
  - HDR合成していない画像
  - HDR合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
  - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD- ライティング（84）で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
- シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
- 撮影状況によっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。レベルの設定を低くすることで調整できます。
- ［**HDR**］が［**レベル 1**］～［**レベル 3**］時は、電子ズームは使えません。

## SCENE ➔ パノラマ

［**パノラマ**］を選ぶと表示される画面で、［**かんたんパノラマ**］または［**パノラマアシスト**］を選びます。

- ［**かんたんパノラマ**］（初期設定）：パノラマ写真をつくりたい方向にカメラを動かすだけで、パノラマ写真を撮影できます。
  - 撮影する範囲を［**標準 (180°)**］（初期設定）、または［**ワイド (360°)**］から選べます。
  - シャッターボタンを全押しして指を離し、続けて、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定の範囲を撮影し終えると自動で撮影が終了します。
  - ピントは、撮影開始時に画面中央のエリアで合わせます。
  - ズーム位置は広角側に固定されます。
  - かんたんパノラマで撮影した画像を、1 コマ再生して OK ボタンを押すと、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。
- ［**パノラマアシスト**］：パノラマ写真用の画像を複数撮影し、パソコンでパノラマ写真に合成したいときに使います。
  - 画像をつなげる方向をマルチセレクターの ▲▼◀▶ で選び、OK ボタンを押します。
  - 1 コマ目を撮影したら、画面の表示でつなぎ目を確認しながら必要なコマ数を撮影します。撮影を終了するには、OK ボタンを押します。
  - 撮影した画像は、パソコンに取り込んで、ソフトウェア「Panorama Maker」（89）で合成してください。

### パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

## SCENE ➔ 🐈 ペット

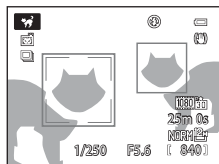
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、ペットにピントが合うと自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 🐈［**ペット**］を選ぶと表示される画面で、［**単写**］または［**連写**］を選びます。
  - ［**単写**］：1 コマずつ撮影します。
  - ［**連写**］：検出した顔にピントが合うと、自動で約 3 コマ / 秒の速さで 3 コマ連写します。手動でシャッターをきるときは、シャッターボタンを全押しし続けると、約 3 コマ / 秒の速さで最大 5 コマまで連写できます（画質［**NORMAL**］、画像サイズ 12M［**4000×3000**］のとき）。

### ✔ ペット自動シャッターについて

- ［**ペット自動シャッター**］の設定を変更するにはマルチセレクターの◀（☆）を押します。
  - ［🐱］：ペットの顔を検出するとピントを合わせ、自動でシャッターをきります。
  - ［**OFF**］：ペットの顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押して、シャッターをきります。人物の顔も認識します（□80）。ペットと人物の顔を同時に検出したときは、ピントはペットの顔に合わせます。
- 以下の場合は［**ペット自動シャッター**］が自動的に［**OFF**］になります。
  - 自動シャッターによる連写を5回繰り返したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたはSDカードの残量がなくなったとき

［**ペット自動シャッター**］での撮影を続けるときは、マルチセレクターの◀（☆）を押し、再設定してください。

### ✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い二重枠のAF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。
- 犬や猫の顔を複数（最大5匹）検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠のAFエリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。
- ペットや人物の顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。

### ✔ ［ペット］についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 被写体との距離や動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。

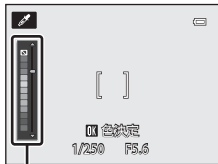
### ✔ ペット検出撮影した画像の再生について

- 再生すると、ペットの顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（連写した画像を除く）。
- 1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、撮影時に検出したペットの顔を中心に拡大表示されます（□82）（連写した画像を除く）。

## SCENE → スペシャルエフェクト

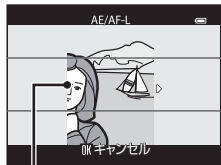
画像に効果を付けて撮影できます。撮影効果のいずれかを選んで撮影します。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **ソフト（初期設定）** | やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。 |
| **ノスタルジックセピア** | セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。 |
| **硬調モノクローム** | コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。 |
| **ハイキー** | 画像全体を明るいトーンで表現します。 |
| **ローキー** | 画像全体を暗いトーンで表現します。 |
| **セレクトカラー** | 画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。<br>• 残したい色をコマンドダイヤルを回してスライダーから選びます。以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん色を選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。<br>- フラッシュモード（52）<br>- セルフタイマー（55）<br>- フォーカスモード（58）<br>- 露出補正（60）<br>もう一度 OK ボタンを押すと、再び色を選べる状態になります。<br>OK 色決定<br>1/250 F5.6<br>**スライダー** |
| **高感度モノクロ** | 意図的に高感度で撮影して、モノトーン（白黒）で表現します。暗いところでの撮影に適しています。<br>• 撮影した画像にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。 |
| **シルエット** | 背景が明るい場面で、被写体がシルエットになるように表現します。 |
| **クロスプロセス** | ポジフィルムをネガ現像処理、またはネガフィルムをポジ現像処理したような、通常とは違う色合いで撮影します。<br>• 色調を選ぶには、コマンドダイヤルを回します。 |

### スペシャルエフェクトの設定について

［**動画設定**］（96）が 480/480［**HS 480/4 倍**］のときは、［**ソフト**］または［**ノスタルジックセピア**］は選べません。

### SCENE ➔ 3D 3D撮影

- 3D 対応のテレビまたはモニターで立体的に表示するため、左目用と右目用の 2 コマを撮影します。
- シャッターボタンを押して 1 コマ目を撮影したら、画面のガイドに被写体が重なるようにカメラを右に水平移動します。
  被写体が重なったことをカメラが検知すると、自動的に 2 コマ目のシャッターがきれます。

- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、OK ボタンを押し、マルチセレクターを回すか、▲▼◀ ▶ を押します。以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フォーカスモード（AF（通常 AF）または マクロ（マクロ AF））
  - 露出補正
- ピントと露出およびホワイトバランスは、1コマ目の撮影で固定され、画面にAE/AF-Lが表示されます。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 保存される画質は［**NORMAL**］、画像サイズは 16:9 2M［**1920×1080**］になります。
- 撮影した 2 コマは、3D 画像（MPO ファイル）として保存されます。このとき、1 コマ目（左目用）の JPEG ファイルも同時に保存されます。

### 3D撮影についてのご注意

- 動く被写体は3D 撮影に適していません。
- カメラと被写体との距離が離れているほど、立体感が出にくくなります。
- 被写体が暗いときや、2コマ目の撮影時に画像の重ね合わせが充分でない場合は、立体感が出にくいことがあります。
- 暗い場所で撮影すると、画像にノイズが現れることがあります。
- 電子ズームは使えません。
- 1コマ目の撮影後にOKボタンを押すか、被写体とガイドの重なりを10秒以内にカメラが検知できないときは、撮影がキャンセルされます。
- 2コマ目の撮影で、ガイドに被写体を重ね合わせても自動撮影が作動せず、撮影がキャンセルされる場合は、シャッターボタンによる手動撮影をお試しください。
- 3D動画は撮影できません。

### 3D画像の再生方法

- カメラのモニター画面では 3D（立体）で再生できません。左目用の画像のみで再生されます。
- 3D（立体）で見るには、3D 対応のテレビまたはモニターが必要です。カメラを 3D 対応のHDMI ケーブルで接続すると（□87）、3Dで再生できます。
- カメラをHDMI ケーブルで接続するときは、セットアップメニュー（□103）→［**TV出力設定**］を以下に設定してください。
  - ［**HDMI**］：［**オート**］（初期設定）または［**1080i**］
  - ［**HDMI 3D出力**］：［**ON**］（初期設定）
- カメラをHDMI 接続して再生しているときは、3D以外の画像との表示の切り換えに時間がかかることがあります。3D（立体）で再生している画像は拡大表示できません。
- テレビまたはモニターの設定は、お使いのテレビまたはモニターの説明書をご確認ください。

### 3D画像再生についてのご注意

3D画像を3D対応のテレビまたはモニターで長時間見続けると、眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。お使いのテレビまたはモニターの説明書をよくご覧になり、適切に使用してください。

## 美肌機能について

以下の撮影モードではシャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。

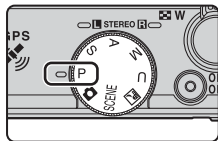
- シーンモードの［**おまかせシーン**］（□34）、［**ポートレート**］（□34）または［**夜景ポートレート**］（□36）

撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（□84）。

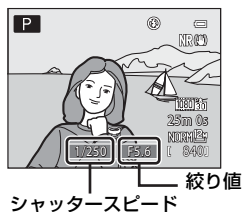
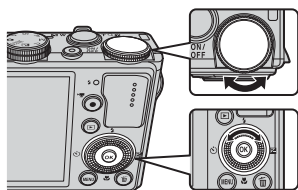
### 美肌機能についてのご注意

- 画像の記録に時間がかかることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

# P、S、A、Mモード（露出を設定して撮影する）

撮影状況や撮影意図に合わせて、シャッタースピードや絞り値を自分で設定できるほか、撮影メニュー（□64）の項目を設定して、より本格的な撮影を楽しめます。

- ピント合わせをするエリアは、MENUボタン→P、S、A、Mタブ→［**AFエリア選択**］の設定によって異なります。
- ［**AFエリア選択**］が［**オート**］（初期設定）のときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

シャッタースピードや絞り値を自分で調節して、画像が意図した明るさ（露出）で撮影されるようにすることを「露出を合わせる」といいます。
同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせによって撮影される画像の流動感や背景のぼかし具合が変わります。

シャッタースピードや絞り値を設定するには、コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回します。

| 露出モード | | シャッタースピード（□78） | 絞り値（□46） |
|---|---|---|---|
| P | **プログラムオート**（□47） | 自動調節（コマンドダイヤルでプログラムシフト可能） | |
| S | **シャッター優先オート**（□47） | コマンドダイヤルで調節 | 自動調節 |
| A | **絞り優先オート**（□47） | 自動調節 | マルチセレクターで調節 |
| M | **マニュアル露出**（□47） | コマンドダイヤルで調節 | マルチセレクターで調節 |

プログラムシフト、シャッタースピードまたは絞り値の設定方法は、セットアップメニュー（□103）の［**Av/Tv操作切り換え**］で変更できます。

### シャッタースピードを調節する

Sモード時は、最大1/2000秒～15秒の範囲で設定できます。

Mモード時は、最大1/2000秒～60秒の範囲で設定できます。

➞ シャッタースピードの制御範囲（P、S、A、Mモード時）（□78）

**速くする**
1/1000秒

**遅くする**
1/30秒

### 絞り値を調節する

A、Mモード時は、f/1.8～8（広角側）、f/5.6～8（望遠側）の範囲で設定できます。

**小さくする**
**（絞りを開く）**
f/1.8

**大きくする**
**（絞りを絞り込む）**
f/8



#### 絞り値（F値）とズームについて

レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど明るくなり、大きくなるほど暗くなります。レンズの一番明るい絞り値を「開放絞り」といい、一番暗い絞り値を「最小絞り」といいます。このカメラのズームレンズの絞り値は、ズーム位置によって変化します。広角側の開放絞りはf/1.8、望遠側の開放絞りはf/5.6です。

#### 内蔵NDフィルターについて

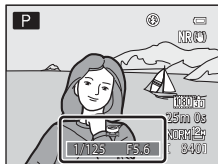
被写体が明るすぎるときなどは、撮影メニュー（□64）の［**内蔵NDフィルター設定**］を設定すると、減光して撮影できます。

#### U（ユーザーセッティング）モードについて

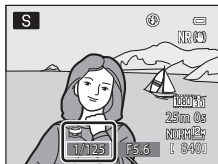
モードダイヤルのU（ユーザーセッティング）モードでも、P（プログラムオート）、S（シャッター優先オート）、A（絞り優先オート）またはM（マニュアル露出）で撮影できます。Uには、撮影でよく使う設定の組み合わせ（ユーザーセッティング）を登録できます（□50）。

## P（プログラムオート）

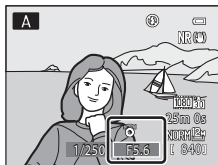
露出の設定をカメラにまかせて撮影します。

- コマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフト中は、モニター画面左上のP表示の横にプログラムシフトマーク（✱）が表示されます。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク（✱）が消えるまでコマンドダイヤルを回します。モードダイヤルを切り換えたり、電源をOFFにしても、プログラムシフトを解除できます。

## S（シャッター優先オート）

動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調するときなどに使います。

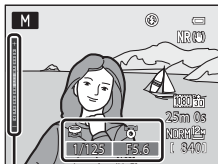
- コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを調節できます。

## A（絞り優先オート）

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたいときなどに使います。

- マルチセレクターを回すと、絞り値を調節できます。

## M（マニュアル露出）

撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたいときに使います。

露出インジケーター

- 設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測定した適正露出値の差がモニター画面の露出インジケーターに表示されます。露出インジケーターは、－2 EVから+2 EVの範囲で1/3 EVごとに表示されます。
- コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを調節でき、マルチセレクターを回すと、絞り値を調節できます。

### 撮影時のご注意

- 露出を設定したあとにズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化することがあります。
- 被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅します（Mモード時を除く）。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。また、内蔵NDフィルター（□66）、ISO感度（□66）などの設定を変更すると適切な露出が得られることがあります。

### ISO感度についてのご注意

Mモード時のISO感度は、［**ISO感度設定**］（□66）を［**オート**］または［**感度制限オート**］に設定すると、ISO 80に固定されます。

## P、S、A、Mモードの設定を変える

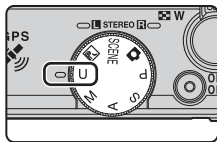
- マルチセレクターで設定できる機能 → □51
- MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能
  - 撮影メニュー → □64
  - セットアップメニュー → □103
- Fn（ファンクション）ボタンで設定できる機能 → □68

# U（ユーザーセッティング）モード

撮影でよく使う設定の組み合わせ（ユーザーセッティング）をUに登録できます。P（プログラムオート）、S（シャッター優先オート）、A（絞り優先オート）またはM（マニュアル露出）で撮影できます。

モードダイヤルを回して、U に合わせると、［**User Setting 登録**］で登録した設定になります。

→「Uモードに設定を登録する」（□50）

- そのまま、構図を決めて撮影するか、必要に応じて設定を変えて撮影します。
- モードダイヤルをUに合わせたときの設定の組み合わせは、［**User Setting 登録**］で何度でも再登録できます。

Uには、以下の設定内容を登録できます。

**基本設定**

- 撮影モードP/S/A/M（□45）※1
- ズーム位置（□25）※2
- フラッシュモード（□52）
- セルフタイマー（□55）
- フォーカスモード（□58）※3
- 露出補正（□60）
- Fnボタン設定（□68）

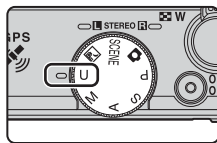
**撮影メニュー**

- 画質（□69）
- 画像サイズ（□71）
- Picture Control（□65）
- Custom Picture Control （□65）
- ホワイトバランス（□65）※4
- 測光方式（□65）
- 連写（□65）
- ISO感度設定（□66）
- AEブラケティング（□66）
- AFエリア選択（□66）※5
- AFモード（□66）
- 調光補正（□66）
- ノイズ低減フィルター（□66）
- 内蔵NDフィルター（□66）
- Active D-ライティング（□66）
- ズームメモリー（□67）

※1 基準となる撮影モードを選びます。登録時のプログラムシフトの設定（P のとき）、シャッタースピード（S、Mのとき）、絞り値（A、Mのとき）も記憶します。
※2 登録時のズーム位置も記憶します。［**起動ポジション設定**］（□67）は設定できません。
※3 フォーカスモードがMF（マニュアルフォーカス）のときは、登録時のフォーカスの距離も記憶します。
※4 プリセットマニュアルのプリセット値は、撮影モードP、S、A、M、Uで共通です。
※5 ［**AFエリア選択**］が［**マニュアル**］のときは、登録時のAFエリアの位置も記憶します。

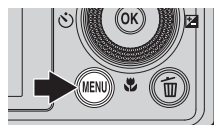
# Uモードに設定を登録する

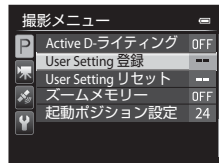
**1** 登録したい露出モードにモードダイヤルを合わせる

- P、S、AまたはMに合わせてください。
- Uに合わせても登録できます（ご購入時は、撮影モードPの初期設定が登録されています）。

**2** 撮影時の設定を、よく使う組み合わせに変更する

- 登録内容は49ページをご覧ください。

**3** MENUボタンを押す

- 撮影メニューが表示されます。

**4** マルチセレクターで［**User Setting 登録**］を選んで、OKボタンを押す

- ［**登録終了**］画面が表示され、現在の設定内容が登録されます。

### 時計用電池のご注意

内蔵の時計用電池（□21）が切れると、Uに登録した設定内容がリセットされますのでご注意ください。重要な設定は、必要に応じてメモしておくことをおすすめします。

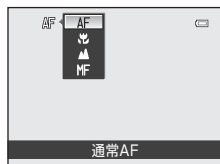
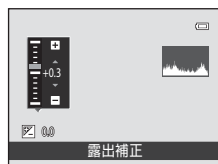
### User Settingのリセットについて

［**User Setting リセット**］を選ぶと、ユーザーセッティングに登録された設定内容は、以下のようにリセットされます。

- 撮影モード：P（プログラムオート）
- ズーム位置：最も広角側
- フラッシュモード：$AUTO（自動発光）
- フォーカスモード：AF（通常AF）
- 露出補正：0.0
- Fnボタン設定：［**連写**］
- 撮影メニュー：それぞれの項目の初期設定と同じ

# マルチセレクターで設定できる機能

撮影時にマルチセレクターの▲（⚡）、◀（⏲）、▼（🌷）、▶（☒）を押すと、下記の機能を設定できます。

いろいろな撮影

## 設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

- 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」（📖61）をご覧ください。

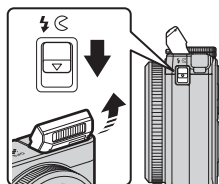
| | 機能 | 📷 | SCENE、🖼 | P、S、A、M、U |
|---|---|---|---|---|
| ⚡ | フラッシュモード（📖52） | ○ | ※1 | ○ |
| ⏲ | セルフタイマー（📖55） | ○ | | ○ |
| | 笑顔自動シャッター（📖56） | ○ | | ○ |
| 🌷 | フォーカスモード（📖58） | ○ | | ○ |
| ☒ | 露出補正（📖60） | ○ | | ○※2 |

※1 シーンによって異なります。→「初期設定一覧」（📖61）
※2 撮影モードがMモードの場合は、露出補正は使えません。

# フラッシュを使う（フラッシュモード）

フラッシュをポップアップするとフラッシュ撮影ができます。フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

**1** ⚡︎Ͼ（フラッシュポップアップ）レバーを下げて、フラッシュをポップアップする

- フラッシュを閉じているときは発光禁止になり、Ⓢが表示されます。

**2** マルチセレクターの▲（⚡︎ フラッシュモード）を押す

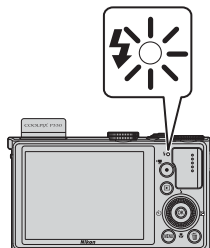
**3** マルチセレクターでモードを選び、OK ボタンを押す

- フラッシュモードの種類→□53
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

- ⚡︎AUTO（自動発光）にすると［**モニター表示設定**］（□103）にかかわらず、⚡︎AUTOは数秒間で消えます。

**4** 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。
  - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
  - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
  - 消灯：発光しません。
- バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

いろいろな撮影

## フラッシュモードの種類

**$AUTO 自動発光**

暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。

**赤目軽減自動発光**

人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します（□54）。

**強制発光**

被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

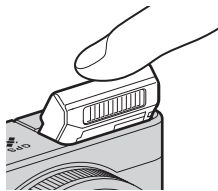
**スローシンクロ**

強制発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

**リアシンクロ**

シャッターが閉じる直前にフラッシュを強制発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

### フラッシュの収納

フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

### フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.5～6.5 m、望遠側で約0.5～2.5 mです（［**ISO感度設定**］が［**オート**］時）。

### フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「設定できる機能の種類」（□51）
  →「初期設定一覧」（□61）
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」（□74）
- 以下の場合、変更したフラッシュモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
  - 撮影モードP、S、A、Mの場合
  - （オート撮影）モードで、（赤目軽減自動発光）にして撮影した場合

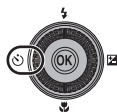
### 赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。
画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

## セルフタイマーを使う

記念撮影などで自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。
セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□103）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

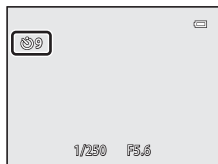
**1** マルチセレクターの ◀（セルフタイマー）を押す

**2** マルチセレクターで［**10s**］（または［**2s**］）を選び、**OK**ボタンを押す

- ［**10s**］（10秒）：記念撮影などに適しています。
- ［**2s**］（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 撮影モードがシーンモードの［**ペット**］のときは、（ペット自動シャッター）が表示されます（□41）。セルフタイマーは使えません。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- **OK**ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

**3** 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出を合わせます。

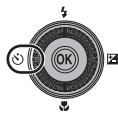
**4** シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

## 笑顔を自動撮影する（笑顔自動シャッター）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます。

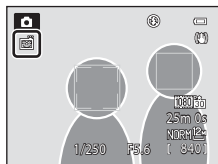
- 撮影モードが（オート撮影）、P、S、A、M、U、シーンモードの［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］のときに使えます。

**1** マルチセレクターの◀（セルフタイマー）を押す

- フラッシュモード、露出、撮影メニューなどを設定するときは、を押す前に設定してください。

**2** マルチセレクターで（笑顔自動シャッター）を選び、ボタンを押す

- ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

**3** 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3 人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。
- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

**4** 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、手順1に戻って［**OFF**］を選びます。

いろいろな撮影

### 笑顔自動シャッターについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識撮影した画像の再生について」→□80
- 撮影モードによっては、笑顔自動シャッターを使えません。
  →「設定できる機能の種類」（□51）
  →「初期設定一覧」（□61）
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」（□74）

### セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

### 手動でシャッターをきるには

シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

### 関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→□81

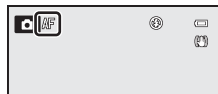
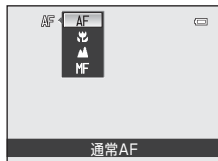
## フォーカスモードを使う

撮影目的に合わせて、以下のフォーカスモードを選べます。

**1** マルチセレクターの▼（🌷フォーカスモード）を押す

**2** マルチセレクターでフォーカスモードを選び、Ⓞボタンを押す

- フォーカスモードの種類→📖59
- Ⓞボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

- AF（通常AF）にすると［**モニター表示設定**］（📖103）にかかわらず、AFが数秒間で消えます。

## フォーカスモードの種類

**AF　通常AF**

被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。
レンズから30 cm以上（最も望遠側の場合は50 cm以上）離れた被写体を撮影するときに使います。

**マクロAF**

花や虫など小さな被写体の近接撮影に使います。
被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmの被写体からピント合わせができます。マークより広角側のズーム位置では、レンズ前約3 cmの被写体からピント合わせができます。

**遠景AF**

窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使います。
無限遠付近でピントを合わせます。
- 近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- フラッシュは、発光しません。

**MF　マニュアルフォーカス**

レンズ前約3 cm～無限遠（∞）の任意の被写体にピントを合わせられます。
最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。
- P、S、A、M、U、シーンモードの［**スポーツ**］または［**スペシャルエフェクト**］のときに使えます。

### フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

### フォーカスモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「設定できる機能の種類」（51）
  →「初期設定一覧」（61）
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」（74）
- 撮影モードP、S、A、Mの場合、変更したフォーカスモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

### マクロAFについて

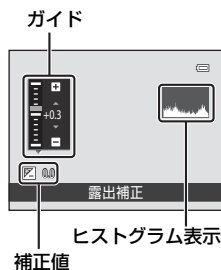
［**AFモード**］（66）設定の無いシーンモードなどでは、（マクロAF）になると、シャッターボタンを半押ししなくてもピント合わせを行う［**常時AF**］に切り換わることがあります。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

# 明るさを調整する（露出補正）

露出補正を設定して撮影すると、画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

## 1 マルチセレクターの▶（露出補正）を押す

## 2 マルチセレクターの▲または▼で補正値を選ぶ

| 設定 | 説明 |
|---|---|
| 「＋」側 | カメラが設定する露出よりも明るくします。 |
| 「－」側 | カメラが設定する露出よりも暗くします。 |
| ［**0.0**］ | 露出補正を解除します。 |

## 3 ボタンを押す

- ボタンを押さずに数秒経過すると、選択が決定されて設定メニューが消えます。
- ボタンを押さずにシャッターボタンを押しても、選択している補正値で撮影できます。
- ［**0.0**］以外に設定すると、モニター画面にマークと補正値が表示されます。

## 4 シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するときは、手順1に戻って補正値を［**0.0**］にします。

### 露出補正の設定について

- P、S、Aモードの場合、変更した露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- 撮影モードが、シーンモードの［**打ち上げ花火**］（38）またはM（マニュアル露出）モード（47）の場合、露出補正は使えません。
- フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。

### ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- 露出補正を「＋」側にすれば山が右側に寄り、「－」側にすれば山が左側に寄ります。

## 初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

- シーンモードについては、次ページをご覧ください。

| 撮影モード | フラッシュモード※1（□52） | セルフタイマー（□55） | フォーカスモード（□58） | 露出補正（□60） |
|---|---|---|---|---|
| （オート撮影）（□31） | AUTO | OFF※2 | AF※3 | 0.0 |
| P、S、A、M（□45） | AUTO | OFF※2 | AF | 0.0 |
| U（ユーザーセッティング）（□49） | AUTO | OFF※2 | AF | 0.0 |

※1 フラッシュを閉じているときは、設定できません。
※2 笑顔自動シャッターも選べます。
※3 MF（マニュアルフォーカス）は選べません。

- 撮影モードP、S、A、Mの場合、設定した内容は、電源をOFFにしても記憶されます（セルフタイマーを除く）。

### 組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります（□74）。

## マルチセレクターで設定できる機能

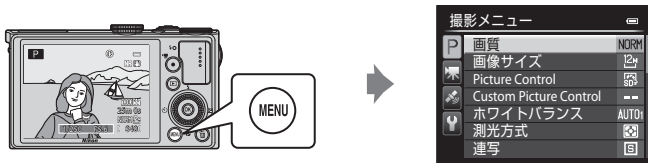
シーンモードの初期設定は以下のとおりです。

| | フラッシュモード※1（□52） | セルフタイマー（□55） | フォーカスモード（□58） | 露出補正（□60） |
|---|---|---|---|---|
| （□33） | ※2 | OFF | ※2 | 0.0 |
| （□34） | ※3 | OFF | AF※2 | 0.0 |
| （□34） | | OFF※4 | AF※2 | 0.0 |
| （□35） | ※2 | OFF | ※2 | 0.0 |
| （□35） | ※2 | OFF※2 | AF※5 | 0.0 |
| （□36） | ※6 | OFF※4 | AF※2 | 0.0 |
| （□36） | ※7 | OFF | AF※2 | 0.0 |
| （□36） | | OFF | AF※8 | 0.0 |
| （□36） | | OFF | AF※8 | 0.0 |
| （□36） | ※2 | OFF | ※2 | 0.0 |
| （□36） | ※2 | OFF | ※2 | 0.0 |
| （□37） | ※9 | OFF | ※2 | 0.0 |
| （□38） | ※2 | OFF | ※2 | 0.0 |
| （□38） | ※2 | OFF | AF※8 | 0.0 |
| （□38） | ※2 | OFF※2 | ※2 | 0.0※2 |
| （□38） | | OFF | AF※8 | 0.0 |
| （□39） | /※10 | OFF | AF※2 | 0.0 |
| （□40） | ※11 | OFF※11 | AF※12 | 0.0 |
| （□41） | ※2 | ※13 | AF※8 | 0.0 |
| （□42） | ※14 | OFF | AF | 0.0 |
| 3D（□43） | ※2 | OFF※2 | AF※8 | 0.0 |

※1 フラッシュを閉じているときは、設定できません。
※2 変更できません。
※3 変更できません。自動判別したシーンに合わせて、カメラがフラッシュモードを設定します。
※4 笑顔自動シャッターも選べます。
※5 AF（通常AF）またはMF（マニュアルフォーカス）に変更できます。
※6 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※7 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
※8 AF（通常AF）または（マクロAF）に変更できます。
※9 ［**連写NR撮影**］のときは、フラッシュは発光しません。

※10［**HDR**］が［**OFF**］のときは、⚡（強制発光）に固定されます。
［**HDR**］が［**OFF**］以外のときは、フラッシュは発光しません。
※11［**かんたんパノラマ**］のときは、変更できません。
※12［**かんたんパノラマ**］のときは、変更できません。［**パノラマアシスト**］のときは、AF（通常AF）、🌷（マクロAF）または▲（遠景AF）に変更できます。
※13ペット自動シャッター（📖41）のON/OFFを設定できます。セルフタイマーは使えません。
※14［**高感度モノクロ**］と［**シルエット**］のときは、フラッシュは発光されません。

# MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（撮影モード）

撮影モードでMENUボタンを押すと、撮影メニューを設定できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

| 機能 | 📷 | P、S、A、M、U | SCENE ※1、 |
|---|---|---|---|
| 画質（□69） | ○ | ○ | ○ |
| 画像サイズ（□71） | ○ | ○ | ○ |
| Picture Control（□65） | × | ○ | × |
| Custom Picture Control（□65） | × | ○ | × |
| ホワイトバランス（□65） | × | ○ | × |
| 測光方式（□65） | × | ○ | × |
| 連写（□65） | × | ○ | × |
| ISO感度設定（□66） | × | ○ | × |
| AEブラケティング（□66） | × | ○ | × |
| AFエリア選択（□66） | × | ○ | × |
| AFモード（□66） | × | ○ | × |
| 調光補正（□66） | × | ○ | × |
| ノイズ低減フィルター（□66） | × | ○ | × |
| 内蔵NDフィルター設定（□66） | × | ○ | × |
| Active D-ライティング（□66） | × | ○ | × |
| User Setting 登録（□66） | × | ○ | × |
| User Setting リセット（□66） | × | ○ | × |
| ズームメモリー（□67） | × | ○ | × |
| 起動ポジション設定（□67） | × | ○※2 | × |

※1 モードダイヤルがSCENEのときは、シーンの種類も選べます。シーンによっては、他の項目を設定できます。→「シーンモードの種類と特徴」（□33）
※2 Uモード時は設定できません。

## 組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります（□74）。

## 関連ページ

メニューの基本操作 → □6

## 撮影メニューの種類

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **画質**※1 | 記録する画質（画像の圧縮率）を設定します（□69）。初期設定は［**NORMAL**］です。 |
| **画像サイズ**※1 | 記録する画像サイズ（画像の大きさ）を設定します（□71）。初期設定は 12M［**4000×3000**］です。 |
| Picture Control※1（COOLPIX**ピクチャーコントロール**） | 撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画（え）作りを設定できます。初期設定は［**スタンダード**］です。 |
| Custom Picture Control（COOLPIX**カスタムピクチャーコントロール**） | 撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画（え）作りを設定できる「COOLPIXピクチャーコントロール」を元に調整したカスタム設定を登録できます。 |
| **ホワイトバランス**※1 | 画像の色合いを見た目に近づけたいときなどに設定します。［**オート (標準)**］（初期設定）でほとんどの状況に対応できますが、思い通りの色合いにならないときは、天候や光源に合わせて設定してください。<br>・プリセットマニュアルのプリセット値は、撮影モード P、S、A、M、U で共通です。 |
| **測光方式**※1 | 被写体の明るさを測定する方式を選びます。測定した明るさで露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。初期設定は［**マルチパターン**］です。 |
| **連写**※1 | 連続撮影の設定をします。<br>・初期設定は［**単写**］（1 コマずつ撮影）です。<br>・［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］または［**BSS**］（□38）の設定時は、シャッターボタンを全押しし続けて連写します。<br>・［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］または［**マルチ連写**］の設定時は、シャッターボタンを全押しすると、設定に応じたコマ数を一度に連写します。<br>・［**インターバル撮影**］の設定時は、シャッターボタンを 1 回全押しすると、［**30 秒**］、［**1 分**］、［**5 分**］または［**10 分**］間隔で自動的に連続撮影します。 |

いろいろな撮影

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **ISO感度設定**※1 | ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体ブレを軽減しやすくなります。［**オート**］（初期設定）では、カメラが自動でISO感度を設定します。<br>・M（マニュアル露出）モードのときに［**オート**］、［**感度制限オート**］に設定すると、ISO 感度は ISO 80 に固定されます。 |
| **AEブラケティング** | 露出（明るさ）を自動的に変えながら連続撮影できます。初期設定は［**OFF**］です。 |
| **AFエリア選択**※1 | AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を［**顔認識オート**］（□80）、［**オート**］、［**マニュアル**］、［**中央 (標準)**］、［**中央 (ワイド)**］、［**ターゲット追尾**］または［**ターゲットファインドAF**］（□79）に設定します。 |
| **AFモード** | シャッターボタンを半押ししたときのみピント合わせを行う［**シングルAF**］（初期設定）、または半押ししていないときもピント合わせを行う［**常時AF**］を選べます。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。 |
| **調光補正** | フラッシュの発光量を補正できます。フラッシュが明るすぎるときや暗すぎるときなどに使います。初期設定は［**0.0**］です。 |
| **ノイズ低減フィルター** | 画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。初期設定は［**標準**］です。 |
| **内蔵NDフィルター設定**※1 | 内蔵NDフィルターの［**ON**］、［**オート**］または［**OFF**］（初期設定）を設定します。被写体が明るすぎて露出オーバーになるときなどに［**ON**］にすると、カメラに入る光量が減ります。 |
| **Active D-ライティング** | ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い画像で撮影します。初期設定は［**OFF**］です。 |
| **User Setting 登録** | 現在の設定をモードダイヤルU（□49）に登録します。 |
| **User Setting リセット** | モードダイヤルUに登録した設定内容をリセットします。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ズームメモリー | ［**ON**］時は、ズームレバーを操作すると、あらかじめ設定したズームレンズの焦点距離（35mm判換算の撮影画角）に段階的に切り換えできます。初期設定は［**OFF**］です。<br>・［**ON**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、焦点距離を選ぶ画面が表示されます。Ⓚ ボタンを押してオン［✔］/ オフを切り換え、マルチセレクターの ▶ を押して確定します。 |
| 起動ポジション設定※2 | 電源をONにしたとき、あらかじめ設定したズームレンズの焦点距離（35mm判換算の撮影画角）にズーム位置（ポジション）が移動します。初期設定は［**24 mm**］です。 |

※1 ［**Fn ボタン設定**］でFn（ファンクション）ボタンの機能に割り当てると、撮影時にFnボタンを押しても、設定メニューを表示できます。
Fn（ファンクション）ボタンを使う → □68
※2 Uモード時は設定できません。

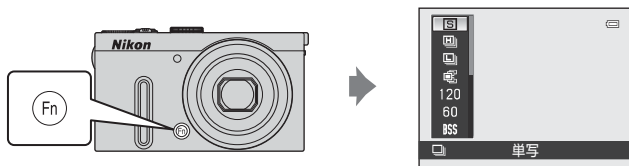
# Fn（ファンクション）ボタンで設定できる機能

以下の機能は、MENUボタンを押してメニューを表示する代わりに、Fnボタンを押しても設定できます。

- 撮影モードがP、S、A、M、Uのときに使えます。

| 画質（□69） | 連写（□65） |
|---|---|
| 画像サイズ（□71） | ISO感度設定（□66） |
| Picture Control（□65） | AFエリア選択（□66） |
| ホワイトバランス（□65） | 内蔵NDフィルター（□66） |
| 測光方式（□65） | 手ブレ補正（□104） |

## 1 撮影画面で、Fnボタンを押す

- 最後に設定した機能の設定項目（初期設定は［**連写**］）と Fn［**Fnボタン設定**］が表示されます。

## 2 マルチセレクターでメニュー項目を選ぶ

- 他の機能を設定するには、Fn［**Fnボタン設定**］を選んでOKボタンを押します。表示されるメニューから設定したい機能を選びます。

## 3 設定が終わったら、OKボタンまたはFnボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。

# 画質と画像サイズを変える

記録する画質（画像の圧縮率）や画像サイズ（画像の大きさ）を選べます。

## 画質

画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録可能なコマ数（□73）は少なくなります。

撮影画面にする ➔ MENUボタン（□6）➔ 撮影メニュー ➔ 画質

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| FINE | FINE | ［**NORMAL**］よりも精細な画質になります。<br>圧縮率：約1/4 |
| NORM | NORMAL<br>**（初期設定）** | 一般的な撮影に適した画質モードです。<br>圧縮率：約1/8 |
| NRW+FINE | RAW (NRW) +<br>FINE※1、2 | RAW (NRW) とFINE（JPEG）の2種類の画像を同時に記録します。 |
| NRW+NORM | RAW (NRW) +<br>NORMAL※1、2 | RAW (NRW) とNORMAL（JPEG）の2種類の画像を同時に記録します。 |
| NRW | RAW (NRW)※1、2 | 撮像素子の生データを記録します。撮影後は、再生メニュー（□84）の［**RAW (NRW) 現像**］を使って、JPEG形式の画像を作成します。<br>• ［**RAW (NRW)**］を選ぶと、［**画像サイズ**］は、12M［**4000×3000**］にリセットされます。<br>ファイル形式：RAW（NRW、ニコン独自フォーマット） |

※1 シーンモードでは選べません。
※2 ファイルサイズが大きいため、内蔵メモリーには記録できません。

### COOLPIX P330のRAW (NRW) 画像について

- 撮影した画像ファイルの拡張子は、「.NRW」になります。
- RAW (NRW) 画像は、そのままではプリントできません。［**RAW (NRW) 現像**］（□85）でJPEG形式の画像を作成すると、PictBridge対応プリンターやプリントサービス店でのプリントができます。
- RAW (NRW) 画像は、そのままではRAW (NRW) 現像以外の画像編集ができません。画像編集するときは、［**RAW (NRW) 現像**］を使って作成したJPEG形式の画像を編集してください。
- パソコンでRAW (NRW) 画像を表示するには、ViewNX 2をインストールする必要があります。Capture NX 2でもRAW (NRW) 画像を扱えます。
- ViewNX 2は、付属CD-ROM「ViewNX 2」を使ってパソコンにインストールできます（「ViewNX 2を使う」□88をご覧ください）。
  ViewNX 2の使い方は、ViewNX 2の操作画面やヘルプをご覧ください。

### 画質の設定について

- 画質の設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（□8～10）。
- メニュー表示中に［**画質**］を選んでコマンドダイヤルを回しても、画質を変更できます。
- 設定は、他の撮影モードにも適用されます（撮影モードU、シーンモードの［**かんたんパノラマ**］、［**3D撮影**］を除く）。
- シーンモードでは、RAW (NRW) 画像を記録できません。
  他の撮影モードからシーンモードにすると、画質は以下のように切り換わります。
  - ［**RAW (NRW)** ］のとき：［**FINE**］に切り換わります。
  - ［**RAW (NRW) ＋FINE**］、［**RAW (NRW) + NORMAL**］のとき：それぞれ［**FINE**］、［**NORMAL**］に切り換わります。
- ［**画質**］が［**RAW (NRW)**］、［**RAW (NRW) ＋FINE**］または［**RAW (NRW) ＋NORMAL**］のときは、電子ズームは使えません。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」（□74）

### RAW (NRW) 画像とJPEG画像の同時記録について

- 同時記録したRAW (NRW) 画像とJPEG画像は、同じファイル番号で拡張子がそれぞれ「.NRW」と「.JPG」になります。
- カメラでの再生時は、JPEG画像だけが表示されます。
- JPEG画像を🗑ボタンを押して削除すると、同時記録したRAW (NRW) 画像も削除されますので、ご注意ください。

### 関連ページ

- 記録可能コマ数 →□73

## 画像サイズ

記録する画像の大きさ（ピクセル数）を設定します。
画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録可能なコマ数（□73）は少なくなります。

撮影画面にする ➔ MENUボタン（□6）➔ 撮影メニュー ➔ 画像サイズ

| 項目※1 | | アスペクト比（横：縦） | プリント時の大きさ※2 |
|---|---|---|---|
| 12M | 4000×3000（初期設定） | 4:3 | 約34 × 25 cm |
| 8M | 3264×2448 | 4:3 | 約28 × 21 cm |
| 4M | 2272×1704 | 4:3 | 約19 × 14 cm |
| 2M | 1600×1200 | 4:3 | 約13 × 10 cm |
| VGA | 640×480 | 4:3 | 約 5 × 4 cm |
| 16:9 9M | 3968×2232 | 16:9 | 約33 × 19 cm |
| 16:9 2M | 1920×1080 | 16:9 | 約16 × 9 cm |
| 3:2 | 3984×2656 | 3:2 | 約34 × 22 cm |
| 1:1 | 3000×3000 | 1:1 | 約25 × 25 cm |

※1 記録データの総画素数（ピクセル）と横×縦の画素数を表しています。
例：12M 4000×3000：約12メガピクセル＝ 4000 × 3000ピクセル

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。
RAW (NRW) 画像のプリント時のサイズは、RAW (NRW) 現象（□85）したときの画像サイズによって異なります。

### 画像サイズの設定について

- 画像サイズの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（□8～10）。
- メニュー表示中に［**画像サイズ**］を選んでコマンドダイヤルを回しても、画像サイズを変更できます。
- 設定は、他の撮影モードにも適用されます（撮影モードU、シーンモードの［**かんたんパノラマ**］、［**3D撮影**］を除く）。
- 記録されたRAW (NRW) 画像は［**RAW (NRW) 現像**］（□85）で、作成するJPEG画像のサイズを選べます（最大4000 × 3000ピクセル）。
- ［**RAW (NRW) + FINE**］、［**RAW (NRW) + NORMAL**］のときは、JPEG 画像の［**画像サイズ**］を設定できます。ただし、16:9 9M［**3968×2232**］、16:9 2M［**1920×1080**］、3:2［**3984×2656**］、1:1［**3000×3000**］は選べません。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」（□74）

## 記録可能コマ数

4 GBのSDカードに記録可能なコマ数の目安は以下のとおりです。
実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画質/画像サイズの設定でも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。
SDカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。

| 画像サイズ | 画質 | 記録可能コマ数<br>（4 GB） |
|---|---|---|
| 4000×3000 | FINE<br>NORMAL<br>RAW (NRW) | 約620コマ<br>約1110コマ<br>約140コマ |
| 3264×2448 | FINE<br>NORMAL | 約930コマ<br>約1650コマ |
| 2272×1704 | FINE<br>NORMAL | 約1880コマ<br>約3350コマ |
| 1600×1200 | FINE<br>NORMAL | 約3650コマ<br>約6350コマ |
| 640×480 | FINE<br>NORMAL | 約20100コマ<br>約30100コマ |
| 3968×2232 | FINE<br>NORMAL | 約840コマ<br>約1500コマ |
| 1920×1080 | FINE<br>NORMAL | 約3440コマ<br>約6030コマ |
| 3984×2656 | FINE<br>NORMAL | 約710コマ<br>約1270コマ |
| 3000×3000 | FINE<br>NORMAL | 約830コマ<br>約1470コマ |

- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
- 内蔵メモリー（約15 MB）使用時の記録可能コマ数の目安は、SDカードを抜いて、撮影時の画面でご確認ください。［**画質**］が［**RAW (NRW)**］、［**RAW (NRW) + FINE**］、または［**RAW (NRW) + NORMAL**］の場合、ファイルサイズが大きいため、内蔵メモリーには記録できません。

### 画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

画像サイズを「1:1」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を「フチあり」にしてください。
プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。
詳しくは、お使いのプリンターの使用説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

# 組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

| 制限される機能 | 設定 | 内容 |
|---|---|---|
| **フラッシュモード** | フォーカスモード（□58） | ▲（遠景AF）にすると、フラッシュは使えません。 |
| | 連写（□65） | ［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］にすると、フラッシュは使えません。 |
| | AEブラケティング（□66） | フラッシュは使えません。 |
| **セルフタイマー / 笑顔自動シャッター** | AFエリア選択（□66） | ［**ターゲット追尾**］にすると、セルフタイマー / 笑顔自動シャッターは使えません。 |
| **フォーカスモード** | 笑顔自動シャッター（□56） | 笑顔自動シャッターにすると、AF（通常AF）にリセットされます。 |
| | AFエリア選択（□66） | ［**ターゲット追尾**］にすると、MF（マニュアルフォーカス）は設定できません。 |
| **画質** | 連写（□65） | • ［**先取り撮影**］または［**マルチ連写**］にすると、［**NORMAL**］に固定されます。<br>• ［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］にすると、［**RAW (NRW)**］、［**RAW (NRW) + FINE**］または［**RAW (NRW) + NORMAL**］は使えません。 |
| **画像サイズ** | 画質（□69） | • ［**RAW (NRW)**］にすると、［**画像サイズ**］は 12M［**4000×3000**］に固定されます。<br>• ［**RAW (NRW) + FINE**］、［**RAW (NRW) + NORMAL**］のときは、JPEG 画像の［**画像サイズ**］を設定できます。ただし、16:9 9M［**3968×2232**］、16:9 2M［**1920×1080**］、3:2［**3984×2656**］、1:1［**3000×3000**］は選べません。 |
| | 連写（□65） | • ［**先取り撮影**］にすると、［**画像サイズ**］は 3M（2048 × 1536 ピクセル）に固定されます。<br>• ［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］にすると、［**画像サイズ**］は 1M（1280 × 960 ピクセル）に固定されます。<br>• ［**マルチ連写**］にすると、［**画像サイズ**］は 5M（2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。 |

| 制限される機能 | 設定 | 内容 |
|---|---|---|
| ISO感度設定 | 連写（□65） | ［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］にすると、［**ISO感度設定**］は［**オート**］に固定されます。 |
| | Active D-ライティング（□66） | ・［**ISO 感度設定**］が［**オート**］のときに［**Active D- ライティング**］を［**OFF**］以外にすると、ISO 感度の上限が ISO 800 になります。<br>・［**Active D-ライティング**］を［**OFF**］以外にすると、［**ISO 感度設定**］の［**1600**］、［**3200**］、［**Hi 1**］、［**Hi 2**］は使えません。 |
| ホワイトバランス | Picture Control（□65） | ［**モノクローム**］にすると、［**ホワイトバランス**］は［**オート (標準)**］に固定されます。 |
| Picture Control | Active D-ライティング（□66） | ［**Active D-ライティング**］を［**OFF**］以外にすると、「手動調整」の［**コントラスト**］を調整できません。 |
| 測光方式 | Active D-ライティング（□66） | ［**Active D-ライティング**］を［**OFF**］以外にすると、［**測光方式**］は［**マルチパターン**］にリセットされます。 |
| 連写/AEブラケティング | 連写（□65）/AEブラケティング（□66） | 連写と［**AEブラケティング**］は同時に使えません。<br>［**連写**］の設定を［**単写**］以外にすると、［**AEブラケティング**］は［**OFF**］にリセットされます。<br>［**AEブラケティング**］を［**OFF**］以外にすると、［**連写**］の設定は［**単写**］にリセットされます。 |
| | セルフタイマー（□55） | ［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］または［**BSS**］とセルフタイマーは同時に使えません。セルフタイマー使用時は1コマずつの撮影になります。 |
| | 笑顔自動シャッター（□56） | 笑顔検出してシャッターがきれた場合、1コマのみの撮影になります。先取り撮影時は、［**単写**］で動作します。インターバル撮影は、1コマで終了します。 |
| | 画質（□69） | ［**RAW (NRW)**］、［**RAW (NRW) + FINE**］または［**RAW (NRW) + NORMAL**］時は、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］は使えません。 |
| | Picture Control（□65） | ［**モノクローム**］にすると、［**AEブラケティング**］は使えません。 |

## 組み合わせて使えない機能

| 制限される機能 | 設定 | 内容 |
|---|---|---|
| **AFエリア選択** | 笑顔自動シャッター（□56） | ［**AFエリア選択**］の設定にかかわらず、顔認識撮影になります。 |
| | フォーカスモード（□58） | ・［**ターゲット追尾**］以外に設定したときにフォーカスモードを ▲（遠景 AF）にすると、AF エリア選択の設定にかかわらず、遠景にピントが合います。<br>・MF（マニュアルフォーカス）にすると、AF エリア選択を設定できません。 |
| | Picture Control（□65） | ［**ターゲットファインドAF**］時、［**モノクローム**］に設定すると、顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。 |
| | ホワイトバランス（□65） | ［**ターゲットファインドAF**］時、［**プリセットマニュアル**］、［**電球**］、［**蛍光灯 FL 1**］、［**蛍光灯 FL 2**］、［**蛍光灯 FL 3**］、［**色温度設定**］に設定、またはホワイトバランスの微調整を設定すると、顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。 |
| **AFモード** | 笑顔自動シャッター（□56） | 笑顔自動シャッターのときは、変更できません。 |
| | フォーカスモード（□58） | フォーカスモードが▲（遠景AF）のときは、［**シングルAF**］で動作します。 |
| | AFエリア選択（□66） | ［**顔認識オート**］にすると、［**シングルAF**］で動作します。 |
| **アクティブ D-ライティング** | ISO感度設定（□66） | ［**ISO感度設定**］を［**1600**］、［**3200**］、［**Hi 1**］、［**Hi 2**］にすると、［**Active D-ライティング**］は使えません。 |
| **デート写し込み** | 画質（□69） | ［**RAW (NRW)**］、［**RAW (NRW) + FINE**］または［**RAW (NRW) + NORMAL**］のときは、日付を写し込めません。 |
| | 連写（□65） | ［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］にすると、日付を写し込めません。 |
| **操作音** | 連写（□65） | ［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］にすると、シャッター音は鳴りません。 |
| | AEブラケティング（□66） | シャッター音は鳴りません。 |

| 制限される機能 | 設定 | 内容 |
| --- | --- | --- |
| **目つぶり検出設定** | 笑顔自動シャッター（🕮56）/連写（🕮65）/AEブラケティング（🕮66） | 笑顔自動シャッターのとき、［**連写**］の設定を［**単写**］以外にしたとき、AEブラケティングのときは、目つぶり検出しません。 |
| **電子ズーム** | 笑顔自動シャッター（🕮56） | 笑顔自動シャッターにすると、電子ズームは使えません。 |
| | フォーカスモード（🕮58） | **MF**（マニュアルフォーカス）にすると、電子ズームは使えません。 |
| | 画質（🕮69） | ［**RAW (NRW)**］、［**RAW (NRW) + FINE**］または［**RAW (NRW) + NORMAL**］にすると、電子ズームは使えません。 |
| | 連写（🕮65） | ［**マルチ連写**］にすると、電子ズームは使えません。 |
| | AFエリア選択（🕮66） | ［**ターゲット追尾**］にすると、電子ズームは使えません。 |
| | ズームメモリー（🕮67） | ［**ズームメモリー**］を［**ON**］に設定すると、電子ズームは使えません。 |

### ✔ 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードによっては、電子ズームは使えません。
- 電子ズーム使用時は、AFエリア選択や測光方式などが制限されます。

## シャッタースピードの制御範囲（P、S、A、Mモード時）

シャッタースピードの制御範囲は、ISO感度の設定によって異なります。
さらに、以下の連写設定時は、制御範囲が変わります。

| 設定 | | 制御範囲（秒） |
|---|---|---|
| ISO感度設定（□66）※1 | オート※2、<br>感度制限オート※2 | 1/2000 ～ 1秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 60秒（Mモード） |
| | ISO 80、100 | 1/2000 ～ 15秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 60秒（Mモード） |
| | ISO 200 | 1/2000 ～ 8秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 60秒（Mモード） |
| | ISO 400 | 1/2000 ～ 4秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 60秒（Mモード） |
| | ISO 800 | 1/2000 ～ 2秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 30秒（Mモード） |
| | ISO 1600 | 1/2000 ～ 1秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 15秒（Mモード） |
| | ISO 3200 | 1/2000 ～ 1/2秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 8秒（Mモード） |
| | Hi 1 | 1/2000 ～ 1/4秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 2秒（Mモード） |
| | Hi 2 | 1/2000 ～ 1/8秒（P、S、Aモード）<br>1/2000 ～ 2秒（Mモード） |
| 連写（□65） | 連写H、連写L、BSS | 1/2000 ～ 1/8秒 |
| | 先取り撮影、マルチ連写 | 1/4000 ～ 1/30秒 |
| | 高速連写 120 fps | 1/4000 ～ 1/125秒 |
| | 高速連写 60 fps | 1/4000 ～ 1/60秒 |
| | インターバル撮影 | 1/2000 ～ 1秒（P、S、AモードでISO 3200時は1/2秒、Hi 1時は1/4秒、Hi 2時は1/8秒まで） |

※1　連写の設定によっては、ISO感度の設定が制限されます（□75）。
※2　Mモードのときは、ISO 80に固定されます。

# ピント合わせについて

ピント合わせができるエリアや撮影距離は、撮影モードやフォーカスモード（□58）によって異なります。

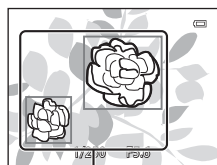
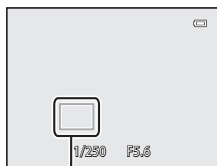
・P、S、A、M、U モードでは、ピント合わせをするエリアを、撮影メニューの［**AFエリア選択**］（□66）で設定できます。

## ターゲットファインドAFについて

P、S、A、M、Uモードの［**AFエリア選択**］が［**ターゲットファインドAF**］のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

• カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。ピントが合うと、被写体に合った大きさのAFエリア表示が緑色に点灯します（複数のエリアに点灯することがあります）。
  カメラが人物の顔を検出したときは、その人物を優先してピントを合わせます。

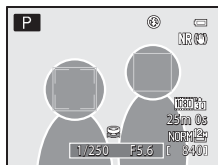
AF エリア

• カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。

AF エリア

### ターゲットファインドAFについてのご注意

• どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
• 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
  - 被写体が非常に暗い、または明るい
  - 主要被写体の色に特徴が少ない
  - 主要被写体が画面の周辺部にある
  - 主要被写体が同じパターンを繰り返す
• 以下のときは、顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
  - ［**Picture Control**］を［**モノクローム**］に設定時
  - ［**ホワイトバランス**］を［**プリセットマニュアル**］、［**電球**］、［**蛍光灯 FL 1**］、［**蛍光灯 FL 2**］、［**蛍光灯 FL 3**］、［**色温度設定**］に設定時、またはホワイトバランスの微調整を設定時

# 顔認識撮影について

以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。
複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

| 設定 | 認識する顔の数 | AFエリア（二重枠） |
|---|---|---|
| P、S、A、M、Uモードで［**AFエリア選択**］（□66）を［**顔認識オート**］に設定時 | 最大12人 | カメラに最も近い顔 |
| シーンモード（□32）の［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**ペット**］※ | | |
| 😊（笑顔自動シャッター）（□56） | 最大3人 | 画面中央に最も近い顔 |

※［**ペット**］で［**ペット自動シャッター**］を［**OFF**］にしたときも、人物の顔を認識します（□41）。

- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
- ［**おまかせシーン**］では、自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- ［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントを合わせます。
- 😊（笑顔自動シャッター）では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントを合わせます。

### 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□81）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、「フォーカスロック撮影」（□81）をお試しください。

### 顔認識撮影した画像の再生について

- 再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］（□65）または［**AEブラケティング**］（□66）で撮影した画像を除く）。
- 1コマ表示でズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（□82）。

## フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

- フォーカスロックをしている間は被写体との距離を変えないでください。
- シャッターボタンを半押しすると、露出は固定されます。

## オートフォーカスが苦手な被写体

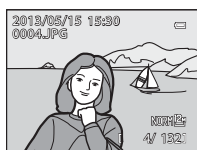
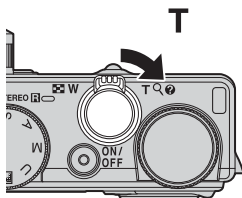
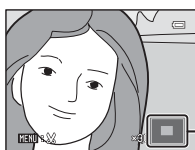
以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影をお試しください。
マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます（□58）。

# いろいろな再生

## 拡大表示する

再生モードで、拡大したい画像を1コマ選び、ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。

1 コマ表示

表示位置ガイド

拡大表示

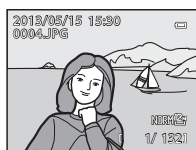
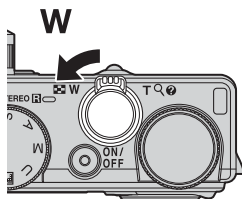
### 拡大表示中の操作

| 機能 | 操作 | 内容 |
|---|---|---|
| **拡大率を調節する** | **W**（⊞）/ **T**（Q） | • 最大 10 倍まで拡大できます。<br>• コマンドダイヤルを回しても操作できます。 |
| **表示位置を移動する** | ▲▼◀▶ | 表示位置を移動します。 |
| **トリミングする** | MENU | 表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます。 |
| **1コマ表示に戻す** | OK | 1コマ表示に戻ります。 |

**顔認識、ペット検出して撮影した画像の拡大表示について**

顔認識（□80）またはペット検出（□41）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します（[**連写**]（□65）または［**AEブラケティング**]（□66）で撮影した画像を除く）。複数の顔を認識したときは、▲▼◀ ▶で、別の顔に移動できます。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀ ▶を押します。

# 一覧表示する（サムネイル/カレンダー）

再生モードで、ズームレバーを**W**（⊞）方向に回します。
複数の画像を同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。

1 コマ表示

サムネイル表示
（4コマ/9コマ/16コマ/72コマ）

カレンダー表示

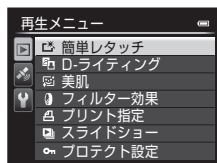
## サムネイル表示/カレンダー表示中の操作

| 機能 | 操作 | 内容 |
|---|---|---|
| 表示コマ数を変更する | **W**（⊞）/ **T**（Q） | ・表示コマ数を変更します（4 コマ /9 コマ /16 コマ /72 コマ）。<br>・72 コマ表示でズームレバーを **W**（⊞）方向に回すと、カレンダー表示になります。<br>・カレンダー表示で **T**（Q）方向に回すと、72 コマ表示になります。 |
| 画像を選ぶ/日付を選ぶ | （マルチセレクター） | ・サムネイル表示では画像を選びます。<br>・カレンダー表示では日付を選びます。 |
| 1コマ表示に戻す | OK | ・サムネイル表示では、選択した画像を 1 コマ表示します。<br>・カレンダー表示では、選択した日の最初に撮影した画像を1コマ表示します。 |

### ☑ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2013年1月1日」の画像として扱われます。

# MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（再生モード）

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと、再生メニューを設定できます（□6）。

## 再生メニューの種類

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 簡単レタッチ ※1、2、3 | コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。 |
| D-ライティング ※1、3 | 逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。 |
| 美肌※1、2、3 | 撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。 |
| フィルター効果 ※1、3 | デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。効果の種類には、［**ソフト**］、［**セレクトカラー**］、［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］、［**絵画調**］、［**周辺減光**］があります。 |
| プリント指定※4、5 | SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。 |
| スライドショー | 内蔵メモリー/SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。 |
| プロテクト設定※5 | 大切な画像や動画を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。 |
| 画像回転※3、4、5 | 撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。 |
| スモールピクチャー ※1、3 | 撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 音声メモ※3 | 撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモを付けられます。音声メモの再生または削除もできます。 |
| 画像コピー※5 | 内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。動画もコピーできます。 |
| NRW RAW (NRW)現像 ※1、3、5 | 撮影したRAW (NRW)画像（□69）をパソコンを使わずにカメラ内でRAW現像し、JPEG画像を作成します。 |
| 連写グループ表示方法 | 連写した画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。 |
| 連写の代表画像選択※5 | 連写した一連の画像（連写グループ）の代表画像を変更します。<br>• 設定時はメニューを表示する前に、変更したい連写グループを選びます。 |

※1 選択中の画像を編集し、元画像とは異なるファイル名で保存します。
ただし、以下の画像は編集できません。
- アスペクト比16:9、3:2または1:1の画像
- ［**かんたんパノラマ**］または［**3D撮影**］で撮影した画像
- COOLPIX P330以外で撮影した画像

また、編集済みの画像は繰り返し編集できないなどの制限があります。

※2 動画から切り出した画像は、簡単レタッチまたは美肌の編集ができません。

※3 連写グループの画像は、代表画像だけを表示しているときは設定できません。メニューを表示する前に、Ⓚボタンを押して画像を1コマずつ表示すると設定できます。

※4 ［**3D撮影**］で撮影した画像は設定できません。

※5 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の使い方」（□86）

# 画像選択画面の使い方

以下のメニューでは、画像選択画面が表示されます。
1画像のみ選べるメニュー項目と、複数の画像を選べるメニュー項目があります。

| 1画像だけ選べる機能 | 複数の画像を選べる機能 |
|---|---|
| ・**再生メニュー**：<br>画像回転、<br>RAW (NRW)現像、<br>連写の代表画像選択<br>・**セットアップメニュー**：<br>オープニング画面の［**撮影した画像**］<br>・**PictBridge**（プリンター接続中）：<br>プリント画像選択 | ・**再生メニュー**：<br>プリント指定の［**複数画像選択**］、<br>プロテクト設定、<br>画像コピーの［**選択画像コピー**］<br>・**PictBridge**（プリンター接続中）：<br>プリントメニューの［**プリント選択**］<br>・画像削除の［**削除画像選択**］（□29） |

以下の手順で画像を選びます。

**1** マルチセレクターを回すか、◀ ▶を押して、画像を選ぶ

- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 1画像だけ選べる機能の場合→手順3へ

**2** ▲▼を押してON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ONにすると、選択画像に✔が表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

**3** ⓚボタンを押して画像選択を決定する

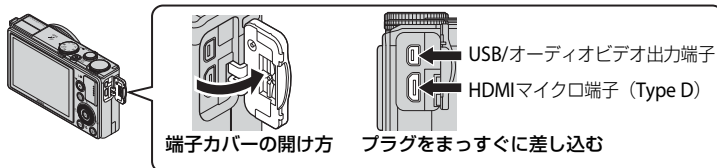
- 削除画像選択などでは、確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

# テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書も併せてお読みください。
- USBケーブルまたはオーディオビデオケーブルと、HDMIケーブルは同時に接続できません。

端子カバーの開け方

プラグをまっすぐに差し込む

## テレビで鑑賞する

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：付属のオーディオビデオケーブル EG-CP16（AVケーブル）の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブル（Type D）を、テレビのHDMI入力端子に接続します。

## パソコンで閲覧、管理する □88

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属 CD-ROM「ViewNX 2」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属 CD-ROM「ViewNX 2」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、90 ページをご覧ください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SD カードなどが壊れるおそれがあります。

## パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

# ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これらすべてを可能とするオールインワンソフトです。
付属CD-ROM「ViewNX 2」を使ってインストールできます。

## ViewNX 2をインストールする

### 対応OS

**Windows**

・ Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP

**Macintosh**

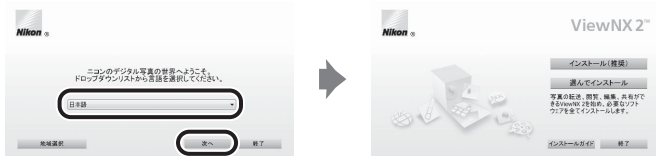
・ Mac OS X 10.6、10.7、10.8

対応OSに関する最新情報、動作環境の詳細は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

**1** パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2」をCD-ROMドライブに入れる

- Windows：ディスク（CD-ROM）に対する操作の指示が画面に表示されたときは、画面の指示に従って［**Welcome**］を開きます。
- Mac OS：［**ViewNX 2**］ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の［**Welcome**］アイコンをダブルクリックします。

## 2 ［言語選択］ダイアログで言語を選択し、［Welcome］ウィンドウを開く

- ［**言語選択**］ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、［**地域選択**］をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- ［**次へ**］をクリックすると、［**Welcome**］ウィンドウが開きます。

## 3 インストールを開始する

- インストールをする前に、［**Welcome**］ウィンドウの［**インストールガイド**］をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- ［**Welcome**］ウィンドウの［**インストール（推奨）**］をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

## 4 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows：［**はい**］をクリックします。
- Mac OS：［**OK**］をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

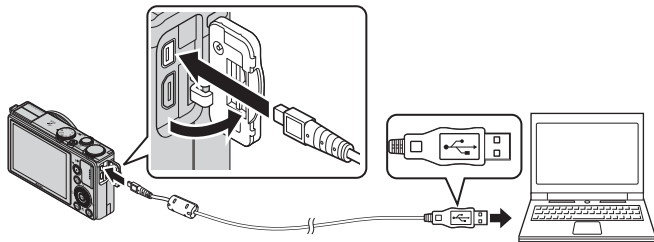
- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker（シーンモードのパノラマアシストを使って撮影した画像をパノラマ写真に合成します）
- QuickTime（Windows のみ）

## 5 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

## パソコンに画像を取り込む

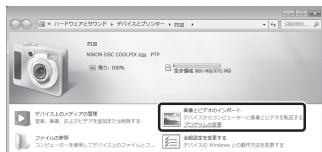
### 1 画像の入ったSDカードを用意する

SDカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続します。カメラの電源が自動的にONになります。
  内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SD カードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

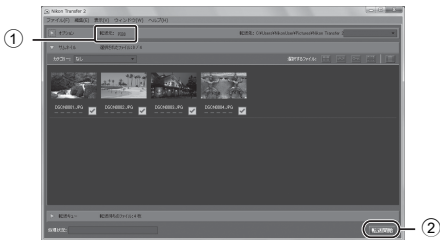
- **Windows 7 をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

  1 ［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする
  2 ［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

**USBケーブル接続についてのご注意**

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

## 2 画像をパソコンに取り込む

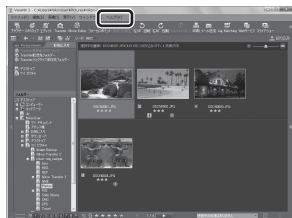
- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

## 3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にしてから、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

# 画像を見る

### ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。

**ViewNX 2 を手動で起動するには**

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックします。

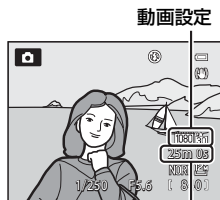
# 動画を撮影、再生する

## 動画を撮影する

●（📽 動画撮影）ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。
色合いやホワイトバランスなどの静止画の設定は、動画にも引き継がれます。

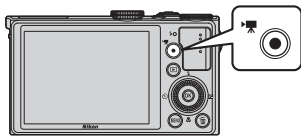
- 内蔵メモリーでは動画を短時間しか撮影できません。SDカード（Class 6以上推奨）をお使いください。

**1** 電源をONにして、撮影画面を表示する

- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します（□96）。

※イラスト上の記録可能時間の数値は、実際とは異なります。

**2** ●（📽 動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- 「動画撮影中のピントと露出について」→ □93
- 「動画撮影を一時停止する」→ □93
- ［**動画設定**］が 1080 ［**1080★/30p**］などアスペクト比16:9の動画設定で撮影する場合、撮影画面のアスペクト比が16:9に切り換わります（右の画面の範囲で記録されます）。［**モニター表示設定**］（□103）を［**動画枠+情報オート**］にすると、撮影前に動画の写る範囲を確認できます。

- モニター画面に、記録できる残り時間の目安が表示されます。SDカードをカメラに入れていないときは IN が表示され、内蔵メモリーに記録します。
- 記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

**3** ●（📽 動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

## 動画撮影中のピントと露出について

- 動画撮影中のピントは、動画メニュー［**AFモード**］（□96）の設定によって以下のようになります。
  - AF-S［**シングルAF**］（初期設定）：●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときに、ピントは固定されます。動画撮影中にもう一度オートフォーカスでピントを合わせたいときは、マルチセレクターの◀を押します。
  - AF-F［**常時AF**］：動画撮影中もピント合わせを繰り返します。
- フォーカスモード（□58）が、MF（マニュアルフォーカス）のときは、手動でピントを合わせます。動画撮影中も、マルチセレクターを左に回すと遠くの被写体に、右に回すと近くの被写体にピントを合わせられます。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□81）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を撮影するときは、MF（マニュアルフォーカス）（□58）、または動画メニューの［**AFモード**］をAF-S［**シングルAF**］（初期設定）にしてからフォーカスロック撮影（□81）をお試しください。
- 動画撮影中にマルチセレクターの▶を押すと、露出が固定されます。解除するには、もう一度▶を押します。

## 動画撮影を一時停止する

動画撮影中にⓀボタンを押すと、動画撮影が一時停止します（iFrame［**iFrame 540/30p**］（またはiFrame［**iFrame 540/25p**］）、HS動画を除く）。撮影を再開するには、もう一度Ⓚボタンを押します。一時停止のまま5分経過、または●（動画撮影）ボタンを押すと、撮影が終了します。

### 動画撮影中のズームについてのご注意

- 動画撮影中は、ズーム表示が表示されません。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- 電子ズームを使わずに動画撮影を開始したときは、ズームレバーを**T**（Q）方向に回し続けると、光学ズームの最大倍率でズームが止まります。いったんズームレバーから指をはなして、もう一度**T**（Q）方向に回すと電子ズームが作動します。電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。

### 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

### 動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（□17）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- ズームレバーなどの操作音、ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中のモニター画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する

### カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中、カメラ内部が極端に高温になると、カメラ内部の損傷を防ぐため、撮影が自動終了する場合があります。自動終了までの残りの秒数（10s）が画面に表示され、自動終了後は、［**カメラが高温です。電源をOFFにします**］と表示された後に電源もOFFになります。
  カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

### 動画撮影で使える機能

- 露出補正、撮影メニュー（□64）の［**ホワイトバランス**］の設定も撮影する動画に反映します。
- フォーカスモードが（マクロ AF）のときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□55）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒または2秒後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUボタンを押して、（動画）タブに切り換えると動画メニューの設定ができます（□96）

### HS（ハイスピード）動画を撮影する

動画メニュー［**動画設定**］（□96）を／［**HS 480/4倍**］、／［**HS 720/2倍**］、／［**HS 1080/0.5倍**］にすると、スローモーション動画や早送り動画を撮影できます。

## 動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画（JPEG画像）として記録できます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

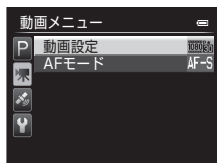
- 画面左上にと動画撮影中に静止画を記録できるコマ数（最大10コマ）が表示されます。が表示されているときは、静止画を記録できません。
- 記録される静止画の画質は、［**画質**］（□69）で設定したものになります。［**RAW (NRW)**］のときは［**FINE**］で記録されます。
- 記録される静止画の画像サイズは、（3968 × 2232ピクセル）になります。

### 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
  - 内蔵メモリーに動画を記録する場合
  - 動画記録可能時間が10秒未満の場合
  - ［**動画設定**］（□96）が［**1080/60i**］、［**1080/50i**］、［**480/30p**］、［**480/25p**］、またはHS動画の場合
  - 動画撮影の一時停止中
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、滑らかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

# MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（動画メニュー）

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ（📖7）

撮影画面でMENUボタンを押してメニュー画面を表示し、🎥タブを選ぶと、動画メニューで以下の項目を設定できます。

## 動画メニューの種類

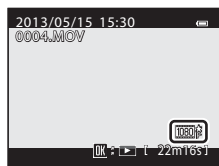
| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **動画設定** | 撮影する動画の種類を選びます。<br>通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画があります。<br>初期設定は［**1080★/30p**］または［**1080★/25p**］です。 |
| AFモード | 通常速度の動画で撮影するときのオートフォーカスの方法を選びます。<br>動画撮影開始時のピントに固定する［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中もピント合わせを繰り返す［**常時AF**］を選べます。<br>［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。 |

**関連ページ**

メニューの基本操作 → 📖6

# 動画を再生する

## 1 ▶（再生）ボタンを押し、再生モードにする

- マルチセレクターで動画を選びます。
- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。

## 2 ⓪ボタンを押し、再生する

### 動画再生中の操作

早送り/巻き戻しをするには、マルチセレクターを回します。
画面上部には操作パネルが表示されます。
マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、⓪ボタンを押すと以下の操作ができます。

| 機能 | アイコン | 内容 | |
|---|---|---|---|
| 巻き戻し | ◀◀ | ⓪ボタンを押している間、巻き戻します。 | |
| 早送り | ▶▶ | ⓪ボタンを押している間、早送りします。 | |
| 一時停止 | ❚❚ | 一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。 | |
| | | ◀❚❚ | 1コマ戻ります。⓪ボタンを押し続けると、連続してコマ戻しします。※ |
| | | ❚❚▶ | 1コマ進みます。⓪ボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。※ |
| | | ✂ | 動画の必要な部分だけを切り出して保存します。 |
| | | 静止画 | 動画の1フレームを静止画として保存します。 |
| | | ▶ | 再生を再開します。 |
| 再生終了 | ■ | 1コマ表示に戻ります。 | |

※ マルチセレクターを回してもコマ送り/コマ戻しできます。

動画を削除するには、1コマ表示（□28）やサムネイル表示（□83）で動画を選んで🗑ボタンを押します（□29）。

### 音量の調節

再生中にズームレバー **W/T**（□1）を操作します。

# GPSを使う

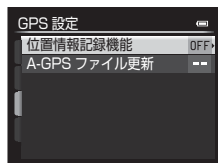
## GPSの位置情報記録を開始する

カメラ内蔵のGPSを使うと、GPS衛星から電波を受信して、現在の時刻と位置を測位します。
測位した位置情報（緯度と経度）は、撮影する画像に記録できます。

### GPS機能をONにする

MENUボタンを押す ➔ （GPS設定）タブ（7）➔ GPS設定

カメラの［**地域と日時**］（103）は、GPS機能を使う前に、正しく設定してください。

**1** マルチセレクターで［**位置情報記録機能**］を選び、Ⓚボタンを押す

**2** ［**ON**］を選び、Ⓚボタンを押す

- GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります。
- 初期設定は、［**OFF**］です。

**3** MENUボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。
- GPS衛星からの電波の受信を開始するときは、空のひらけた屋外で操作してください。

### GPSについてのご注意

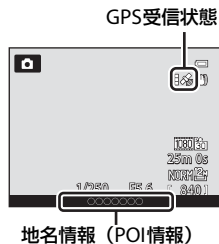
- GPS機能をお使いの前に、「<重要> GPSについて」（📖xii）をお読みください。
- はじめて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。
- GPS衛星の位置は常に変化しています。
  お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないこともあります。
  GPSを使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。
  GPSアンテナ部（📖1）を空に向けると受信しやすくなります。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた場所と異なることがあります。
  - 建物の中や地下
  - 高層ビルの間
  - 高架の下
  - トンネルの中
  - 高圧電線などの近く
  - 密集した樹木の間
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなることがあります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。金属製のものでおおうと測位できません。
- GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。画像に記録した位置情報の取得時刻は、カメラでは表示できません。
- 連写した画像には、1コマ目の位置情報が記録されます。

### 位置情報記録時の電源とバッテリーの消耗について

- ［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にしていると、カメラの電源をOFFにした後も、GPS機能が一定の間隔で約6時間作動します。また、ログ取得中（📖102）は、カメラの電源をOFFにした後も、GPS機能が作動します。
- ［**位置情報記録機能**］が［**ON**］時は、バッテリーを通常より消耗します。
  特にログの取得時は、バッテリー残量にご注意ください。

### GPS受信状態表示と地名情報（POI情報）について



- GPS受信状態は、撮影画面で確認できます。
  - ：4つ以上の衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
  - ：3つの衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
  - ：衛星から受信できなくなりました。過去1分以内に測位した位置情報があれば、画像に記録されます。
  - ：衛星から受信ができず、測位できません。画像に位置情報は記録されません。
- ランドマーク名（施設名）などの地名情報をPOI 情報といいます。
  - GPS設定メニュー（101）の［**POI設定**］の［**POI表示設定**］を［**ON**］にすると、撮影時には現在地に最も近い地名情報を表示します。
  - ［**POI記録**］を［**ON**］にすると、撮影時に画像に 地名情報を記録できます。
  - ［**POI表示設定**］を［**ON**］にすると、地名情報を記録した画像の再生時に撮影時の地名情報を表示します。
- ［**POI設定**］の［**POI表示レベル設定**］の設定したレベルによっては、地名情報が「----」と表示される場合があります。また、意図したランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。

### 位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時にが表示されます（10）。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに転送後、ViewNX 2を使って位置情報を地図上で確認できます（88）。
- 画像ファイルに記録されているGPS情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。

# MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（GPS設定メニュー）

MENUボタンを押す ➔ （GPS設定）タブ（7）

メニュー画面でタブを選ぶと、GPS設定メニューで以下の項目を設定できます。

## GPS設定メニューの種類

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| GPS設定 | ［**位置情報記録機能**］：［**ON**］にすると、GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります（98）。初期設定は［**OFF**］です。<br>［**A-GPSファイル更新**］：SDカードを使ってA-GPS（アシストGPS）ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。<br>・下記のホームページから最新の A-GPS ファイルをダウンロードして、更新してください。<br>http://nikonimglib.com/agps2/index.html |
| POI設定 | POI（Point of interest、地名情報）に関する設定をします。<br>［**POI記録**］：［**ON**］にすると、撮影する画像に地名情報を記録します。初期設定は［**OFF**］です。<br>［**POI表示設定**］：［**ON**］にすると、撮影画面や再生画面に地名情報を表示します。初期設定は［**OFF**］です。<br>［**POI表示レベル設定**］：地名情報の表示レベルを設定します。レベルが大きいほど、詳細な地域情報になり、レベルが小さいほど広域な地域情報（国名など）になります。<br>［**POI情報編集**］：画像に記録された地名情報のレベルを変更したり、地域情報を削除したりできます。 |

MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（GPS 設定メニュー）

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **ログ取得** | ［**ログ取得開始**］で設定した時間が経過するまで、［**ログ取得間隔**］で設定した間隔で測位した位置情報を記録します（GPS設定メニュー［**GPS設定**］→［**位置情報記録機能**］の［**ON**］時）。<br>・取得したログデータは、［**ログ取得終了**］を選び、SD カードに保存します。 |
| **ログデータ表示** | ［**ログ取得**］→［**ログ取得終了**］でSDカードに保存したログデータの確認や削除ができます。<br>・ログを削除するには、ログを選んで 🗑 ボタンを押します。 |
| **日時合わせ** | GPS衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します（GPS 設定メニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］のときのみ）。 |

# カメラに関する基本設定

## セットアップメニュー

MENUボタンを押す➔ Y（セットアップ）タブ（□7）

メニュー画面でYタブを選ぶと、セットアップメニューで以下の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **オープニング画面** | 電源ON時にオープニング画面を表示するかどうかを設定します。表示する画像も選べます。<br>初期設定は［**なし**］です。 |
| **地域と日時** | 内蔵時計の日時を設定します。［**タイムゾーン**］では、ご使用の地域や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差を自動計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。 |
| **モニター設定** | ［**モニター表示設定**］では、撮影画面や再生画面に情報を表示するかどうかを選びます。構図を決める参考になる格子線を表示する［**格子線+情報オート**］も選べます。また、撮影後の画像表示や画面の明るさ、モニター画面にヒストグラムを表示するかを設定します。 |
| **デート写し込み** | 撮影時に画像に撮影日時を写し込んで記録します。初期設定は［**OFF**］です。<br>以下の場合は日時を写し込めません。<br>- シーンモードが［**かんたんパノラマ**］、［**パノラマアシスト**］または［**3D撮影**］のとき<br>- ［**画質**］（□69）が［**RAW (NRW) + FINE**］、［**RAW (NRW) + NORMAL**］または［**RAW (NRW)**］のとき<br>- ［**連写**］（□65）の設定が［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］のとき<br>- 動画撮影のとき |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| **手ブレ補正** | 撮影時に手ブレの影響を軽減します。初期設定は［**NORMAL**］です。<br>・車上での撮影や足場の悪い状況での撮影など、比較的大きなブレが起こりやすい撮影時は、［**ACTIVE**］にしてください。<br>・三脚などでカメラを固定するときは、補正機能の誤動作を防ぐため［**OFF**］にしてください。<br>・［**Fnボタン設定**］でFn（ファンクション）ボタンの機能に割り当てると、撮影時にFnボタンを押しても、設定メニューを表示できます（□68）。 |
| **モーション検知** | 撮影時にカメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。初期設定は［**OFF**］です。<br>撮影画面の表示は、ブレを検知してシャッタースピードが速くなると緑色に変わります。<br>・撮影モードなどの設定によっては、検知しません。その場合は撮影画面には表示されません。 |
| **AF補助光** | ［**オート**］（初期設定）時は、暗い場所でオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光（□26）が点灯します。<br>・AF補助光の設定に関わらず、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しません。 |
| **電子ズーム** | ［**ON**］（初期設定）時は、光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、電子ズームが作動します（□25）。<br>・撮影モードなどの設定によっては、電子ズームは使えません。 |
| **操作音** | 操作時に電子音を鳴らすかどうかを設定します。初期設定では電子音が鳴ります。<br>・撮影モードなどの設定によっては、操作音は鳴りません。 |
| **オートパワーオフ** | 節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。初期設定は［**1分**］です。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）** | SDカードを入れていないときは内蔵メモリーを、SDカードを入れているときはSDカードを初期化（フォーマット）します。<br>• **初期化すると内蔵メモリーまたはSDカード内のデータはすべて削除され、元に戻せません。**必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。 |
| **言語**/Language | メニュー画面などに表示する言語を選びます。 |
| TV**出力設定** | テレビと接続するときの設定をします。<br>• オーディオビデオケーブルでテレビと接続しても画像がテレビに映らないときは、テレビの方式に合わせて、［**ビデオ出力**］を［**NTSC**］または［**PAL**］に設定します。<br>• HDMIの設定ができます。 |
| **パソコン接続充電** | ［**オート**］（初期設定）時は、パソコンと接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。<br>• パソコンで充電する場合、本体充電ACアダプターEH-69P使用時に比べて、充電に時間がかかることがあります。 |
| Av/Tv**操作切り換え** | プログラムシフト、シャッタースピードまたは絞り値の設定方法を切り換えます。<br>［**切り換えない**］（初期設定）を選ぶと、コマンドダイヤルでプログラムシフトまたはシャッタースピードを、マルチセレクターで絞り値を設定します。<br>［**操作を切り換える**］を選ぶと、マルチセレクターでプログラムシフトまたはシャッタースピードを、コマンドダイヤルで絞り値を設定します。<br>• 撮影モードがP、S、A、M、Uのときのみ有効です。 |
| **連番リセット** | ［**はい**］を選ぶと、ファイル番号の連番をリセットします。リセットすると新しい記録フォルダーが作られ、次に撮影する画像の連番は、「0001」から始まります。 |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| **目つぶり検出設定** | 笑顔自動シャッター以外で顔認識撮影（📖80）した直後、被写体の人物が目を閉じている可能性をカメラが検出すると［**目つぶり確認**］画面が表示され、撮影した画像を確認できます。初期設定は［**OFF**］です。 |
| **Eye-Fi送信機能** | 市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうか設定します。初期設定は［**有効**］です（Eye-Fiカード挿入時）。 |
| **インジケーターの＋/－方向** | 撮影モードがMのときに表示される露出インジケーターの＋/－表示の方向を設定します。 |
| **設定クリアー** | カメラを初期設定にリセットします。<br>・［**地域と日時**］、［**言語 /Language**］など、一部の設定やモードダイヤルUに登録したユーザーセッティングの内容はリセットされません。 |
| **バージョン情報** | カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。 |

# 付録、索引

# 取り扱い上のご注意

## カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖vi～viii）をお守りください。

**● 強いショックを与えないでください**

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

**● 水に濡らさないでください**

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

**● 急激な温度変化を与えないでください**

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

**● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください**

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

**● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください**

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

**● バッテリーやACアダプター、メモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください**

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

**● モニター画面（電子ビューファインダー含む）について**

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、ご注意ください。

## バッテリーについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(📖ix～x)をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後のバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃ の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。
  バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
  バッテリーの温度が45℃～60℃のときは、充電できる容量が減ることがあります。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーも用意する

バッテリーは一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかったバッテリーも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなったバッテリーは充電する
残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について
- バッテリーを使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは、付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について
バッテリーを充分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

## 本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖x）をお守りください。
- 本体充電ACアダプター EH-69Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-69P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- EH-69Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。

## メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。
  推奨メモリーカード → □17
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
  未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SD カードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、［**いいえ**］を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、［**はい**］を選んで ㊊ボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - バッテリー /SDカードカバーを開けて、カードやバッテリーを脱着する
  - カメラの電源を OFFにする
  - ACアダプターを外す

# お手入れ方法

## クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の有機溶剤や化学洗剤、防錆剤、曇り止めは使わないでください。

### レンズ

- ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。
- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。
- 強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。
- 汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

### 液晶モニター

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- 強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

### カメラボディー

- ゴミやホコリをブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

**ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。**

## 保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。
カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

バッテリーの保管は、「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」の「●保管について」（☼4）をお守りください。

# 故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

## 電源・表示・設定関連

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| 電源 ON の状態で、カメラの操作ができない | • 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。<br>• 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、バッテリーを入れ直してください。<br>AC アダプター使用時は付け直してください。<br>- 記録中であったデータは保存されません。<br>- 保存済みのデータはバッテリーや AC アダプターの取り外しでは失われません。 | –<br>19 |
| カメラ内のバッテリーを充電できない | プラグの接続状態を確認してください。 | 14 |
| パソコンに接続してバッテリーを充電できない | • セットアップメニュー［**パソコン接続充電**］が［**OFF**］になっています。<br>• パソコンに接続して充電しているときは、カメラの電源を OFF にすると、バッテリーの充電も中止されます。<br>• パソコンに接続して充電しているときに、パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源が OFF になることがあります。<br>• パソコンの仕様、設定または状態によっては、パソコンに接続してカメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。 | 105<br>–<br>–<br>– |
| 電源をONにできない | • バッテリー残量がありません。<br>• 本体充電 AC アダプターの接続中は、電源スイッチを押しても電源は ON になりません。▶（再生）ボタンを長押しすると、再生モードで電源が ON になりますが、撮影はできません。 | 18<br>– |

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| カメラの電源が突然切れる | • バッテリー残量がありません。<br>• 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。<br>• カメラの電源を ON にしたまま、本体充電 AC アダプターを接続すると電源が OFF になります。<br>• パソコンまたはプリンターとの接続中に USB ケーブルが外れると電源が OFF になります。USB ケーブルの接続をやり直してください。<br>• カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。<br>• 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 | 18<br>19<br><br>14<br><br>87、90<br><br><br>–<br><br>🔧3 |
| 液晶モニターに何も映らない | • 電源が入っていません。<br>• バッテリー残量がありません。<br>• 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、▶ ボタンまたは ●（🎥 動画撮影）ボタンを押すか、モードダイヤルを回してください。<br>• フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。<br>• カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。<br>• カメラとテレビがAVケーブルまたはHDMIケーブルで接続されています。<br>• インターバル撮影中です。 | 19<br>18<br>19<br><br><br><br>52<br><br>87、90<br>87<br><br>– |
| モニター画面がよく見えない | • モニター画面の明るさを調整してください。<br>• モニター画面が汚れています。 | 103<br>🔧6 |
| 撮影日時が正しく表示されない | • 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00　00:00」、動画の撮影日時が「2013/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**地域と日時**］で日時を正しく設定してください。<br>• 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 | 20、103<br><br><br><br><br>103 |
| 撮影情報や画像情報が表示されない | セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。 | 103 |
| ［**デート写し込み**］が選べない | セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。 | 20、103 |

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| ［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない | • 日付を写し込めない撮影モードになっています。<br>• デート写し込みが制限される他の機能の設定がされています。<br>• 動画には写し込みできません。 | 103<br>74<br>– |
| 電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される | 時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。 | 21 |
| 設定内容が初期状態に戻ってしまった | 時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。 | 21 |
| ［**連番リセット**］ができない | フォルダー番号が999に達し、そのフォルダー内にファイルがあるときは、［**連番リセット**］ができません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。 | 105 |
| 液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する | バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。 | 19 |
| カメラの温度が高くなる | 動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。 | 94 |

## 撮影関連

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| 撮影モードにできない | HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。 | 87、90 |
| 撮影できない | • 再生モードになっているときは、▶ ボタン、シャッターボタンまたは ●（📹 動画撮影）を押してください。<br>• メニューが表示されているときは、 MENU ボタンを押してください。<br>• バッテリー残量がありません。<br>• シーンモードが［**夜景ポートレート**］または［**逆光**］の［**HDR**］が［**OFF**］のときは、フラッシュをポップアップしてください。<br>• フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。 | 28<br>6<br>18<br>36、39、52<br>52 |
| 3D画像を撮影できない | 被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては、2コマ目を撮影できないことや、撮影した画像を保存できないことがあります。 | – |

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| ピントが合わない | • フォーカスモードの設定が合っていません。設定を確認または変更してください。<br>• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。<br>• セットアップメニュー[**AF補助光**]を[**オート**]にしてください。<br>• シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。<br>• フォーカスモードが MF（マニュアルフォーカス）になっています。<br>• 電源を入れ直してください。 | 58、59<br>81<br>104<br>26、66<br>58<br>19 |
| 撮影時の画面に色の着いた縞模様が発生する | 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドなど）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがありますが、故障ではありません。<br>記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただし、[**高速連写 120 fps**]と[**HS 480/4 倍**]では、記録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。 | – |
| 画像がぶれる | • フラッシュを使ってください。<br>• 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。<br>• BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。<br>• 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。 | 52<br>104、104<br>65<br>55 |
| フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む | フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じてください。 | 52 |
| フラッシュが発光しない | • フラッシュが発光しない撮影モードです。<br>• フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。 | 52、61<br>74 |
| 電子ズームが使えない | • セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。<br>• シーンモードが［**おまかせシーン**］、[**ポートレート**]、[**夜景ポートレート**］、［**逆光**］で［**HDR**］が［**レベル 1**］～［**レベル 3**］、［**パノラマ**］の［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］、または[**3D撮影**]のときは、電子ズームは使えません。<br>• 電子ズームが制限される他の機能の設定がされています。 | 104<br>34、34、36、39、40、41、43<br>74 |
| ［**画像サイズ**］が選べない | • ［**画像サイズ**］が制限される他の機能の設定がされています。<br>• シーンモードが［**パノラマ**］の［**かんたんパノラマ**］または［**3D 撮影**］のときは、画像サイズが固定されます。 | 74<br>40、43 |
| シャッター音が鳴らない | • セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。<br>• シーンモードが［**スポーツ**］、[**ミュージアム**］または［**ペット**］になっています。<br>• シャッター音が制限される他の機能の設定がされています。<br>• スピーカーをふさがないでください。 | 104<br>35、38、41<br>74<br>2 |

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| AF 補助光が点灯しない | セットアップメニュー［**AF 補助光**］が［**OFF**］になっています。［**オート**］に設定していても、AF エリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。 | 104 |
| 画像が鮮明でない | レンズが汚れています。 | 6 |
| 画像の色合いが不自然になる | 適切なホワイトバランスが選ばれていません。 | 65 |
| 画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える | 逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）などが写し込まれることがあります。<br>光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。 | – |
| 画像がざらつく | 被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO 感度が高くなっています。<br>• フラッシュを使ってください。<br>• 低い ISO 感度にしてください。 | <br><br>52<br>66 |
| 画像が暗すぎる（露出アンダー） | • フラッシュが指などでさえぎられています。<br>• 被写体にフラッシュの光が届いていません。<br>• 露出を補正してください。<br>• ISO 感度を上げてください。<br>• 逆光で撮影しています。フラッシュをポップアップして、シーンモードの［**逆光**］の［**HDR**］を［**OFF**］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。 | 24<br>52<br>60<br>66<br>39、52 |
| 画像が明るすぎる（露出オーバー） | • 露出を補正してください。<br>• 撮影メニュー［**内蔵 ND フィルター設定**］をお使いください。 | 60<br>66 |
| 赤目以外の部分が補正された | ⚡◎（赤目軽減自動発光）やシーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを ⚡◎（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。 | 36、52 |
| 美肌の効果が得られない | • 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。<br>• 4 人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー［**美肌**］をお試しください。 | 44<br><br>84 |

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| 画像の記録に時間がかかる | 以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。<br>• ノイズ低減機能が作動したとき<br>• フラッシュを⚡◉（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき<br>• 以下のシーンモードで撮影したとき<br>- 🌃（夜景）の［**手持ち撮影**］<br>- ［**風景**］、［**クローズアップ**］の［**連写 NR 撮影**］<br>- ［**逆光**］の［**HDR**］が［**OFF**］以外<br>- ［**パノラマ**］の［**かんたんパノラマ**］<br>• 撮影メニュー［**連写**］が［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］のとき<br>• 笑顔自動シャッターで撮影したとき<br>• アクティブ D- ライティング機能で撮影したとき | <br>–<br>53<br><br>33<br>35、37<br>39<br>40<br>65<br><br>56<br>66 |
| ［**連写**］または［**AEブラケティング**］の設定ができない、または使えない | ［**連写**］または［**AEブラケティング**］が制限される他の機能の設定がされています。 | 74 |
| COOLPIXピクチャーコントロールが設定できない | COOLPIXピクチャーコントロールが制限される他の機能の設定がされています。 | 74 |

## 再生関連

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| 再生できない | • パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。<br>• インターバル撮影中は再生できません。<br>• COOLPIX P330 以外で撮影した動画は再生できません。 | –<br><br>65<br>92 |
| 連写グループが再生できない | • COOLPIX P330 以外で連写した画像は、連写グループとして再生できません。<br>• ［**連写グループ表示方法**］の設定を確認してください。 | –<br><br>85 |
| 画像の拡大表示ができない | • 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。<br>• COOLPIX P330 以外で撮影した画像は、拡大表示できないことがあります。<br>• カメラを HDMI 接続して、3D 画像を 3D（立体）で再生しているときは、拡大表示できません。 | –<br><br>–<br><br>43 |
| 音声メモの録音や再生ができない | • 動画には音声メモを付けられません。<br>• COOLPIX P330 以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。 | 97<br>85 |

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| 画像や動画を編集できない | • 画像や動画の編集が可能な条件を確認してください。<br>• COOLPIX P330 以外で撮影した画像や動画は編集できません。 | 85<br>– |
| 画像がテレビに映らない | • セットアップメニュー［**TV出力設定**］の［**ビデオ出力**］または［**HDMI**］が正しく設定されていません。<br>• パソコンまたはプリンターと USB ケーブルで接続しているときは、HDMI 出力できません。<br>• 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときはSDカードを取り出してください。 | 105<br>87<br>16 |
| カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない | • カメラの電源が OFF になっています。<br>• バッテリー残量がありません。<br>• USBケーブルが正しく接続されていません。<br>• パソコンにカメラが正しく認識されていません。<br>• 対応 OS を確認してください。<br>• Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご参照ください。 | 19<br>18<br>87<br>—<br>88<br>91 |
| カメラをプリンターに接続しても、PictBridge起動画面が表示されない | PictBridge対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**オート**］に設定していると、PictBridge起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にしてプリンターに接続し直してください。 | 105 |
| プリントする画像が表示されない | • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。<br>• 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。<br>• 3D 撮影した画像はプリントできません。 | 16<br>17<br>43 |
| カメラ側で用紙設定ができない | PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。<br>• カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。<br>• 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 | –<br>– |

## GPS関連

| こんなときは | 考えられる原因や対処法 | 📖 |
|---|---|---|
| 測位できない、測位に時間がかかる | • 撮影する環境によって、測位できないことがあります。GPSを使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。<br>• はじめて測位したときや、測位できない状態が約2時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。 | 99<br>99 |
| 撮影した画像に位置情報が記録されない | 衛星からの電波が受信できず、測位できていないときは、位置情報が記録されません。撮影前にGPS受信状態の表示を確認してください。 | 100 |
| 撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある | 撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。 | 98 |
| 記録された地名情報が意図したものと違う、または表示されない | 希望のランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。 | – |
| A-GPSファイルが更新できない | • 以下のことを確認してください。<br>- SD カードが入っているか<br>- SD カード内に A-GPS ファイルが入っているか<br>- SD カード内の A-GPS ファイルがカメラ内の A-GPS ファイルより新しいか<br>- 有効期限が切れていないか<br>• A-GPS ファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。 | –<br>– |
| GPS設定メニューの［**ログ取得**］が選べない | カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください。 | 103 |
| ［**ログ取得開始**］が選べない | • GPS 設定メニュー［**GPS 設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**OFF**］になっています。<br>• ログ取得中です。新しくログを取得するときは、［**ログ取得終了**］を選び、取得中のログを終了してください。 | 98<br>102 |
| ログデータを保存できない | • SD カードが入っているか確認してください。<br>• 記録できるログデータの数は、1 日に 36 件までです。<br>• 1 枚の SD カードに保存できるログデータは、最大で 100 件までです。不要なログデータを SD カードから削除するか、新しい SD カードに交換してください。 | –<br>–<br>– |

# 地名情報データ使用許諾契約書

COOLPIX P330（以下「本製品」という）に搭載されている地名情報データ（以下「本データ」という）は、次の条件で、ご使用頂けます。

### データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定
株式会社ニコン（以下「ニコン」という）又はニコンのライセンサーは、本データの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニコンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

2. 禁止事項
お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。
（1）サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用すること。
（2）インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。
（3）測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
（4）本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は一部を媒体の如何を問わず複製すること。
（5）本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブル等すること。
（6）法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。
（7）本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。
（8）その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。

3. 警告
時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権
本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責
ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じるお客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いません。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありません。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利を留保します。

6. その他
本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとします。本データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

## Government End Users.

If the Data supplied by NAVTEQ is being acquired by or on behalf of the United States government or any other entity seeking or applying rights similar to those customarily claimed by the United States government, the Data is a "commercial item" as that term is defined at 48 C.F.R. ("FAR") 2.101, is licensed in accordance with the End-User Terms under which this Data was provided, and each instruction manual accompanying the Client device containing a copy of the Data delivered or otherwise furnished shall be marked and embedded as appropriate with the following "Notice of Use," and shall be treated in accordance with such Notice:

NOTICE OF USE
CONTRACTOR (MANUFACTURER/ SUPPLIER) NAME: NAVTEQ
CONTRACTOR (MANUFACTURER/SUPPLIER) ADDRESS:
c/o Nokia 425 West Randolph Street, Chicago, Illinois 60606
This Data is a commercial item as defined in FAR 2.101 and is subject to the End-User Terms under which this Data was provided.


If the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official refuses to use the legend provided herein, the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official must notify NAVTEQ prior to seeking additional or alternative rights in the Data.

## 許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

### ●地名情報データについて

本サービスは株式会社ゼンリンのPOI（位置情報）を使用しています。"ゼンリン"は株式会社ゼンリンの登録商標です。


### ●日本以外の地名情報データについて

| | |
|---|---|
| **Austria** | © Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen |
| **Croatia**<br>**Cyprus**<br>**Estonia**<br>**Latvia**<br>**Lithuania**<br>**Moldova**<br>**Poland**<br>**Slovenia**<br>**Ukraine** | © EuroGeographics |
| **France** | source: © IGN 2009 – BD TOPO ® |
| **Germany** | “Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen” |
| **Great Britain** | Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010<br>Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010 |
| **Greece** | Copyright Geomatics Ltd. |
| **Hungary** | Copyright © 2003; Top-Map Ltd. |
| **Italy** | La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana. |
| **Norway** | Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority |
| **Portugal** | Source: IgeoE – Portugal |

| Spain | Información geográfica propiedad del CNIG |
|---|---|
| Sweden | Based upon electronic data © National Land Survey Sweden. |
| Switzerland | Topografische Grundlage:  © Bundesamt für Landestopographie |
| Canada | This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including © Her Majesty, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post, GeoBase®, © Department of Natural Resources Canada. All rights reserved. |
| Mexico | Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía.) |
| United States | ©United States Postal Service®2012.  Prices are not established, controlled or approved by the United States Postal Service®.  The following trademarks and registrations are owned by the USPS: United States Postal Service, USPS, and ZIP+4. |
| Australia | Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au).<br>Product incorporates data which is © 2012 Telstra Corporation Limited, GM Holden Limited, Intelematics Australia Pty Ltd and Continental Pty Ltd. |
| Nepal | Copyright  ©  Survey Department, Government of Nepal. |
| Sri Lanka | This product incorporates original source digital data obtained from the Survey Department of Sri Lanka<br>© 2009 Survey Department of Sri Lanka<br>The data has been used with the permission of the Survey Department of Sri Lanka |
| Israel | © Survey of Israel data source |
| Jordan | "© Royal Jordanian Geographic Centre". |
| Mozambique | Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2012 by Cenacarta |
| Réunion | source: © IGN 2009 - BD TOPO ® |
| Ecuador | INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO AUTORIZACION N° IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011 |
| Guadeloupe | source: © IGN 2009 - BD TOPO ® |
| Guatemala | Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN N° 186-2011 |
| French Guiana | source: © IGN 2009 - BD TOPO ® |
| Martinique | source: © IGN 2009 - BD TOPO ® |
| Mexico | Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía) |

# 主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX P330

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 型式 | | コンパクトデジタルカメラ |
| 有効画素数 | | 1219万画素 |
| 撮像素子 | | 1/1.7型 原色CMOS、総画素数1276万画素 |
| レンズ | | 光学5倍ズーム、NIKKORレンズ |
| | 焦点距離 | 5.1-25.5 mm<br>（35mm判換算24-120 mm相当の撮影画角） |
| | 開放F値 | f/1.8-5.6 |
| | レンズ構成 | 6群7枚 |
| 電子ズーム倍率 | | 最大2倍（35mm判換算で約240 mm相当の撮影画角） |
| 手ブレ補正機能 | | レンズシフト方式 |
| ブレ軽減機能 | | モーション検知（静止画） |
| オートフォーカス | | コントラスト検出方式 |
| | 撮影距離範囲 | • 先端レンズ面中央から約 30 cm ～∞（広角側）、<br>約 50 cm ～∞ （望遠側）<br>• マクロ AF 時は先端レンズ面中央から<br>約 3 cm（広角側）～∞ |
| | AFエリア | 顔認識オート、オート（9点）、中央（ワイド、標準）、マニュアル（99点）、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF |
| 画像モニター | | 広視野角3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約92万ドット、輝度調節機能付き（5段階） |
| | 視野率（撮影時） | 上下左右とも約100%（対実画面） |
| | 視野率（再生時） | 上下左右とも約100%（対実画面） |
| 記録方式 | | |
| | 記録媒体 | 内蔵メモリー（約15 MB）、<br>SD/SDHC/SDXC メモリーカード |
| | 対応規格 | DCF、Exif 2.3、DPOF、MPF準拠 |
| | ファイル形式 | 静止画： JPEG、RAW（NRW、ニコン独自フォーマット）<br>3D画像：MPO<br>音声メモ：WAV<br>動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AAC ステレオ） |
| 記録画素数（画像サイズ） | | • 12M ［**4000×3000**］<br>• 4M ［**2272×1704**］<br>• VGA ［**640×480**］<br>• 16:9 2M ［**1920×1080**］<br>• 1:1 ［**3000×3000**］<br>• 8M ［**3264×2448**］<br>• 2M ［**1600×1200**］<br>• 16:9 9M ［**3968×2232**］<br>• 3:2 ［**3984×2656**］ |

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| ISO感度（標準出力感度） | ・ISO 80 ～ 3200<br>・Hi 1（ISO 6400 相当）、Hi 2（ISO 12800 相当）（P、S、A、M モード時に設定可能） |
| 露出 | |
| 測光モード | マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光 |
| 露出制御 | プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、AEブラケティング可能、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能 |
| シャッター方式 | メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用 |
| シャッタースピード | ・1/2000 ～ 1秒<br>・1/2000 ～ 60秒（ M モードで ISO 80 ～ 400 時）<br>・1/4000秒（先取り撮影、高速連写時の最高速） |
| 絞り | 電磁駆動による7枚羽根虹彩絞り |
| 制御段数 | 14（1/3 EVステップ）（広角側）（A、Mモード） |
| セルフタイマー | 約10秒、約2秒 |
| フラッシュ | |
| 調光範囲（ISO感度設定オート時） | 約0.5～6.5 m（広角側）<br>約0.5～2.5 m（望遠側） |
| 調光方式 | モニター発光によるTTL自動調光 |
| 調光補正 | 範囲 －2～+2段、補正ステップ 1/3ステップ |
| インターフェース | Hi-Speed USB |
| 通信プロトコル | MTP、PTP |
| ビデオ出力 | NTSC、PALから選択可能 |
| HDMI出力 | オート、480p、720p、1080i から選択可能 |
| 入出力端子 | ・オーディオビデオ（AV）出力 / デジタル端子（USB）<br>・HDMI マイクロ端子 （Type D）（HDMI 出力） |
| GPS | 受信周波数 1575.42 MHz（C/Aコード）、測地系 WGS 84 |
| 表示言語 | 日本語、英語 |
| 電源 | ・Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池：付属）×1 個<br>・AC アダプター EH-62F （別売） |
| 充電時間 | 約4時間30分（本体充電ACアダプター EH-69P使用時、残量のない状態からの充電時間） |

| | |
|---|---|
| 電池寿命（静止画撮影時）※ | 約200コマ（EN-EL12使用時） |
| 三脚ネジ穴 | 1/4（ISO 1222） |
| 寸法（幅×高さ×奥行き） | 約103.0 × 58.3 × 32.0 mm（突起部除く） |
| 質量 | 約200 g（バッテリー、SDメモリーカード含む） |
| 動作環境 | |
| 　使用温度 | 0℃～40℃ |
| 　使用湿度 | 85%以下（結露しないこと） |

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電バッテリー使用時のものです。

※　電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。
静止画の測定条件は、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画質［**NORMAL**］、画像サイズ［**4000×3000**］です。
数値は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用環境によって異なります。

### Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

| | |
|---|---|
| 形式 | リチウムイオン充電池 |
| 定格容量 | DC 3.7 V、1050 mAh |
| 使用温度 | 0℃～40℃ |
| 寸法（幅×高さ×奥行き） | 約32 × 43.8 × 7.9 mm |
| 質量 | 約22.5 g（端子カバーを除く） |

### 本体充電ACアダプター EH-69P

| | |
|---|---|
| 電源 | AC 100～240 V、50/60 Hz、0.068～0.042 A |
| 定格入力容量 | 6.8～10.1 VA |
| 定格出力 | DC 5.0 V、550 mA |
| 使用温度 | 0℃～40℃ |
| 寸法（幅×高さ×奥行き） | 約55 × 22 × 54 mm |
| 質量 | 約55 g |

**説明書について**

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

## AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

## FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2013 The FreeType Project（www.freetype.org）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

## MIT License (Harfbuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2013 The Harfbuzz Project（http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

## 商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

# 索引

## マーク・英数字



## ア

## ナ



## ハ



## マ



## ヤ



## ラ

# アフターサービスについて

## ■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

**【お願い】**

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

## ■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン　サービス機関のご案内」をご覧ください。

**【お願い】**

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

## ■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

## 製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

**0570-02-8000**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 にお送りください。

## 修理サービスのご案内

### 修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

**0120-02-8155**

営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

### 修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

**0570-02-8200**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。

●**修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。**

## インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/

  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

- http://www.nikon-image.com/support/repair/

  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in China

FX3B02(10)
*6MN06510-02*